

村民の皆様へ



平成30年8月の2度にわたる豪雨災害は、人的被害こそ無かつたものの、住民の皆様の生活はじめ、基幹産業である農業等の生業に多大な被害をもたらしました。

改めて、衷心よりお見舞い申し上げます。

近年、自然災害は地球温暖化等により大規模化・局地化し、本村では豪雨や台風、さらに地震等を起因とする自然災害への備えが急務です。

さて、避難準備等の初動では「自助・共助」の機能が大切と言われ、「居住する地域にどんな危険が潜んでいるのか」を知ること、それに応じ「早めに避難する」ことが大切です。

そこで、「戸沢村防災マップ」として、土砂災害警戒区域、想定最大規模の洪水浸水域（最上川・鮭川・角川）をまとめ、「防災・減災」の一助、さらには「安全・安心な地域づくり」の推進として作成しました。

是非、防災学習や訓練等に幅広くご活用いただけますよう、祈念いたします。

平成31年3月

山形県戸沢村長 渡部 秀勝

索引

村民の皆様へ・索引	1
避難情報について・避難行動の種類	2
土砂ハザード情報 ①	3
土砂ハザード情報 ②	4
風水害対策	5
洪水ハザード情報	6
非常時持出品の準備&チェック	7
わが家の防災対策&チェック	8
地震対策・特別警報	9
戸沢村全体図	10
詳細図 No.1 野口	11・12
詳細図 No.2 柏沢・草薙	13・14
詳細図 No.3 高屋	15・16

詳細図 No.4 杉沢	17・18
詳細図 No.5 神田・松坂・名高・濁沢・向名高	19・20
詳細図 No.6 古口・猪ノ鼻・上台・三ツ沢・真柄	21・22
詳細図 No.7 津谷・岩清水・金打坊・岩花 出舟・皿嶋・蔵岡	23・24
詳細図 No.8 中沢・滝ノ下・十二沢・本郷	25・26
詳細図 No.9	27・28
詳細図 No.10 沢内・上野・勝地・畠ヶ・綱取・元屋敷	29・30
詳細図 No.11 平根・片倉・与吾屋敷・長倉	31・32
行政・学校・ライフライン連絡先 わが家の「防災・緊急情報」メモ	33
指定避難所・指定緊急避難場所・ 福祉避難所の一覧	34
戸沢村の災害と歴史	裏表紙

発行：戸沢村[問い合わせ：TEL 0233-72-2111(代)]

制作・著作：株式会社ゼンリン山形営業所(問い合わせ：023-647-7464) 作成：2019年3月

詳細図：「この地図は、戸沢村長の承認を得て同村保管の戸沢村地形図を使用したものである。(承認番号)戸総発第111号」

避難情報について

避難情報の違いを知っておきましょう

防災無線・防災メール・テレビ等を通じて市町村が出す避難情報には違いがあります。

情報の種類	立退き避難が必要な居住者等に求める行動
避難準備・高齢者等避難開始	<ul style="list-style-type: none">■避難に時間のかかる要配慮者とその支援者は立退き避難する。■その他的人は立退き避難の準備を整えるとともに、以後の防災気象情報、水位情報等に注意を払い、自発的に避難を開始することが望ましい。■特に、突発性が高く予測が困難な土砂災害の危険性がある区域や急激な水位上昇のおそれがある河川沿いでは、避難準備が整い次第、当該災害に対応した指定緊急避難場所へ立退き避難することが強く望まれる。
避難勧告	<ul style="list-style-type: none">■予想される災害に対応した指定緊急避難場所へ速やかに立退き避難する。■指定緊急避難場所への立退き避難はかえって命に危険を及ぼしかねないと自ら判断する場合には、「近隣の安全な場所」※1への避難や、少しでも命が助かる可能性の高い避難行動として、「屋内安全確保」※2を行う。
避難指示（緊急）	<ul style="list-style-type: none">■既に災害が発生していてもおかしくない極めて危険な状況となっており、未だ避難していない人は、予想される災害に対応した指定緊急避難場所へ緊急に避難する。■指定緊急避難場所への立退き避難はかえって命に危険を及ぼしかねないと自ら判断する場合には、「近隣の安全な場所」※1への避難や、少しでも命が助かる可能性の高い避難行動として、「屋内安全確保」※2を行う。

※1 近隣の安全な場所：指定緊急避難場所ではないが、近隣のより安全な場所・建物等

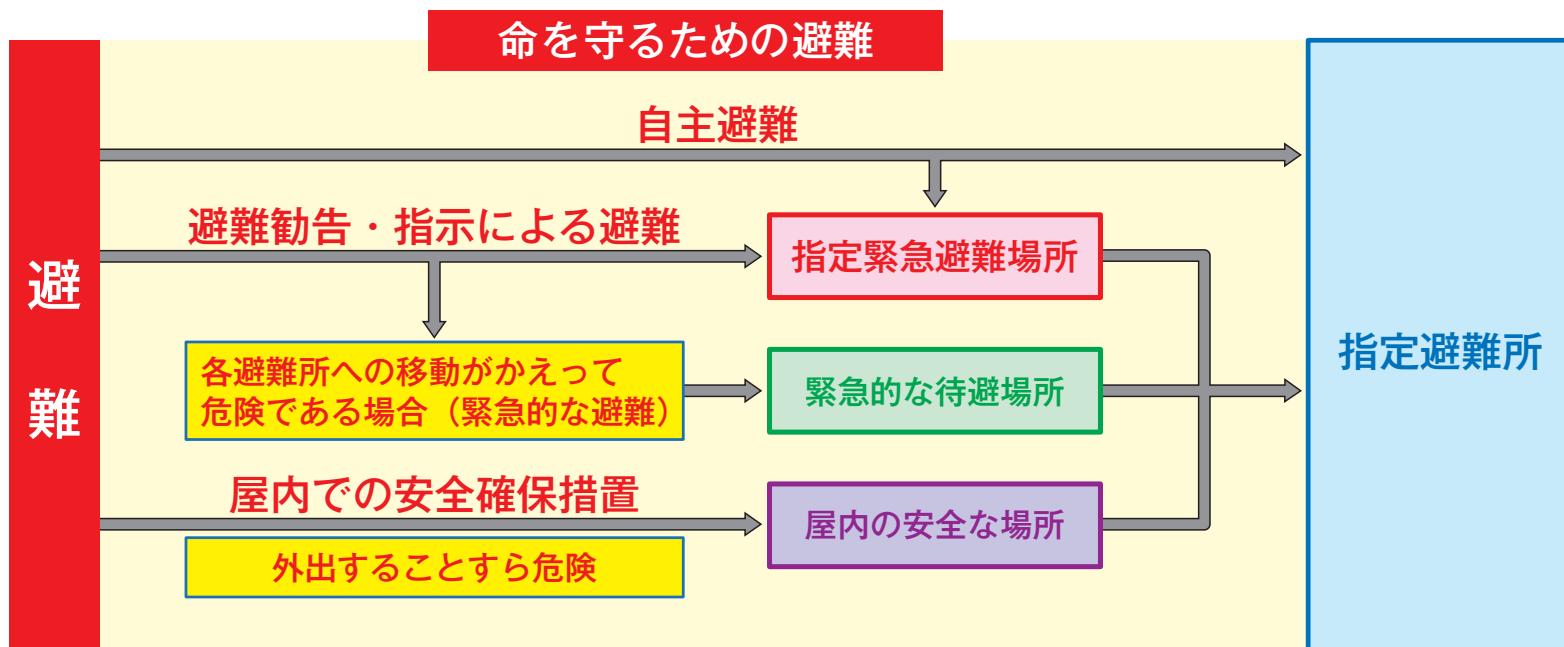
※2 屋内安全確保：その時点に居る建物内において、より安全な部屋等への移動

注 突発的な災害の場合、市町村長からの避難勧告等の発令が間に合わないこともあるため、身の危険を感じたら躊躇なく自発的に避難する。

避難行動の種類

ポイント

- ①避難とは指定緊急避難場所（一時避難施設）または、指定避難所に移動することが原則です。
- ②各避難場所へ移動することができて命に危険を及ぼす場合は、「緊急的な避難」をとってください。
- ③外出することが危険な場合は、「屋内での安全確保措置」をとってください。
- ④災害により、すぐに自宅に戻れない場合は、指定避難所へ移動します。



土砂ハザード情報について①

土砂災害の種類

がけ崩れ

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。がけ崩れは突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、被害者の割合も高くなっています。



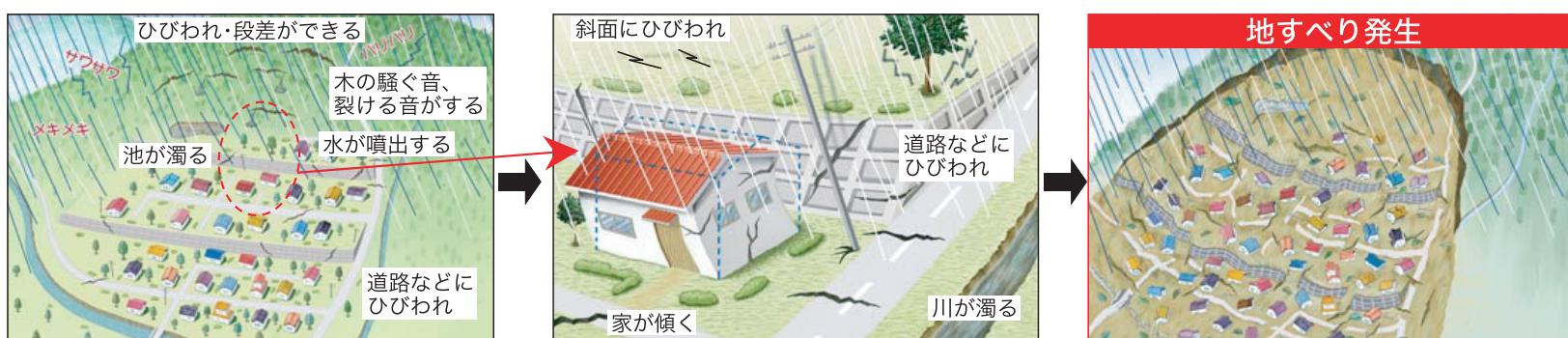
土石流

山腹・谷底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されることをいいます。その流れの速さは規模によって異なりますが、時速20~40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。



地すべり

斜面の一部あるいは全部が、地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。一般的に移動土塊量が大きいため、甚大な被害を及ぼします。また一旦動き出すと、これを完全に停止させることは非常に困難です。



戸沢村で発生した

- 土石流
- 地すべり
- 急傾斜地の崩壊



土砂ハザード情報について②

■土砂災害警戒情報とは

大雨警報(土砂災害)が発表されている状況で、命に危険を及ぼす土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況となったときに、市町村長の避難勧告や住民の自主避難の判断を支援するよう、対象となる市町村を特定して警戒を呼びかける情報で、都道府県と気象庁が共同で発表しています。

■早期避難をお願いします

対象市町村内で土砂災害発生の危険度が高まっている詳細な領域については「土砂災害警戒判定メッシュ情報」でご確認ください。

周囲の状況や雨の降り方にも注意し、土砂災害警戒情報等が発表されていなくても、危険を感じたら、躊躇することなく自主避難をお願いします。

■土砂災害警戒判定メッシュ情報とは

土砂災害警戒判定メッシュ情報は、大雨による土砂災害発生の危険度の高まりを、地図上で5km四方の領域ごとに5段階に色分けして示す情報です。常時10分毎に更新しており、土砂災害警戒情報や大雨警報(土砂災害)等が発表されたときに、土砂災害警戒判定メッシュ情報により、どこで危険度が高まっているかを把握することができます。避難にかかる時間を考慮して、危険度の判定には2時間先までの雨量及び土壤雨量指数の予測値を用いています。

土砂災害発生の危険度が高まっている領域にお住まいの方は、土砂災害危険箇所・土砂災害警戒区域等の外の少しでも安全な場所への早めの避難を心がけてください。

気象庁ホームページ土砂災害警戒判定メッシュ情報

色が持つ意味	住民等の行動の例*	内閣府のガイドラインで 土砂災害警戒区域等を対象に 発令が必要とされている避難情報
極めて危険 すでに 土砂災害警戒情報の 基準に到達	過去の重大な土砂災害発生時に匹敵する極めて危険な状況。命に危険が及ぶような土砂災害がすでに発生していてもおかしくない。この状況になる前に土砂災害危険箇所・土砂災害警戒区域等の外の少しでも安全な場所への避難を完了しておく必要がある。	避難指示(緊急)
非常に危険 2時間先までに 土砂災害警戒情報の 基準に到達すると予想	命に危険が及ぶような土砂災害がいつ発生してもおかしくない非常に危険な状況。速やかに土砂災害危険箇所・土砂災害警戒区域等の外の少しでも安全な場所への避難を開始する。	避難勧告
警戒 (警報級) 2時間先までに警報 基準に到達すると予想	土砂災害への警戒が必要。避難の準備をして早めの避難を心がける。高齢者等は速やかに土砂災害危険箇所・土砂災害警戒区域等の外の少しでも安全な場所への避難を開始する。	避難準備・ 高齢者等避難開始
注意 (注意報級) 2時間先までに注意報 基準に到達すると予想	土砂災害への注意が必要。今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に注意する。	—
今後の 情報等に留意	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	—

メッシュ情報地図



QRコードは株テンソーウェーブの登録商標です。

* 土砂災害警戒判定メッシュ情報に関わらず、自治体から避難勧告等が発令された場合には速やかに避難行動をとってください。

※要配慮者とは、高齢者、障害者、乳幼児等の防災施策において特に配慮を要する方

危険箇所内の重要性の高い箇所について

土石流 特別警戒区域



1.特別警戒区域は、警戒区域のうち土砂災害が発生した場合、建築物に損壊が生じ住民の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域で、一定の開発行為の制限や居室を有する建築物の構造が規制される土地の区域です。

土石流 警戒区域



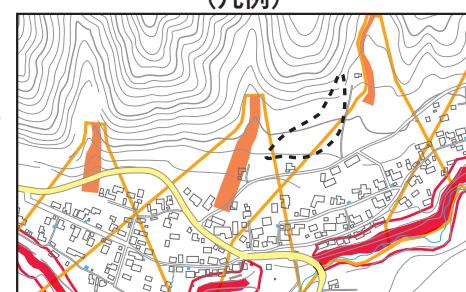
2.警戒区域は、土砂災害が発生した場合、住民の生命または身体に危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域で、警戒避難体制を特に整備すべき土地の区域です。過去の土砂災害による土砂の到達範囲などを勘案して設定されます。

急傾斜 特別警戒区域



※「土石流」「急傾斜地の崩壊」「地すべり」について

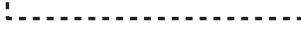
- 土石流……………山から崩れた土や石が水といっしょになつてものすごい勢いで流れ下がってくる現象
- 急傾斜地の崩壊……………急な斜面が崩れる現象
- 地すべり……………やや傾斜のゆるい斜面が、広い範囲にわたりてかたまりのまま動く現象



急傾斜 警戒区域



地すべり 警戒区域



風水害対策について

大雨や強風は、わたしたちに何度も大きな災害をもたらしています。
ふだんから気象情報に十分注意し、避難の際もみんなで協力しましょう。

大雨情報をキャッチ！こんなときのわが家の安全対策。

まずは、
確実な情報が大事
その次に迅速な対応



大雨注意報・警報の発表基準

大雨注意報

大雨によって災害が起こる
おそれがあると予測される場合。

・表面雨量指数(注1) 8 ・土壤雨量指数(注2) 95

大雨警報

大雨によって重大な災害が起こる
おそれがあると予測される場合。

(浸水害)表面雨量指数 13 (土砂災害)土壤雨量指数 115

記録的短時間大雨情報 1時間に雨量100mm

上記に併せて、洪水注意報・洪水警報が発表されます。

雨の強さと降り方

(1時間雨量:mm)

10以上~20未満	20以上~30未満	30以上~50未満	50以上~80未満	80以上~
雨の音で話し声がよく聞き取れない。	ワイパーを速くしても見づらい。側溝や下水、小さな川があふれる。	山崩れ、がけ崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要。	マンホールから水が噴出する。土石流が起りやすい。多くの災害が発生する。	雨による大規模な災害の発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要。

風の強さと吹き方

(平均風速:m/秒)

10以上~15未満	15以上~20未満	20以上~25未満	25以上~
風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。	風に向かって歩けない。転倒する人もいる。	しっかりと身体を確保しないと転倒する。風で飛ばされた物で窓ガラスが割れる。	立っていられない。屋外での行動は危険。樹木が根こそぎ倒れはじめる。

台風

日本には毎年多数の台風が接近あるいは上陸し、たびたび大きな被害をもたらします。

台風の接近が予想される際は、台風情報に十分注意し、被害のないように備えることが必要です。

大きさ	風速15m/秒 以上の半径	強さ	最大風速
大型(大きい)	500km以上800km未満	強い	33m/秒 以上 44m/秒 未満
超大型(非常に大きい)	800km以上	非常に強い	44m/秒 以上 54m/秒 未満
		猛烈な	54m/秒 以上

局地的大雨と集中豪雨

気象庁の定義によると、「局地的大雨」は単独の積乱雲が急激に発達して降らせる一過性の大雨のことで「ゲリラ豪雨」とも呼ばれることがあります。局地的に数十ミリになります。「集中豪雨」は積乱雲が同じ場所で次々と発達を繰り返し、雨が数時間にわたって降り続く現象です。狭い範囲に数百ミリの雨を降らせます。

その中でも、積乱雲が連続して発生し線状に並びその規模が幅20~50km、長さが50~200kmになるものが「線状降水帯」と呼ばれています。停滞性の線状降水帯は、同じ場所で激しい雨が長時間降り続き、まさにその場所にいる人にとっては経験したことのない大雨となり、甚大な被害をもたらすおそれがあります。

- ラジオやテレビなどの気象情報に注意する。
- 村や防災関係機関の広報をよく聞いておく。
- 停電に備え携帯電灯や携帯ラジオを用意する。
- 非常時持出品を準備しておく。
- 早く帰宅し、家族と連絡を取り、非常時に備える。
- 飲料水や食料を数日分確保しておく。
- 浸水に備えて家財道具は高い場所へ移動する。
- 危険な地域では、いつでも避難できるよう準備をする。

つねに気象情報には、
注意して
おきましょう！



地下道（アンダーパス）に注意！

アンダーパスとは、道路や鉄道など立体交差する場合、その下を通る地下道をいいます。大雨・洪水などにより、アンダーパスの道路は真っ先に浸水してしまいます。地域のアンダーパスの場所を把握し、もしもの時に備えて迂回路を想定しておきましょう。普通自動車の場合、約30cmの浸水で走行困難になります。※戸沢村中部地区に4箇所あります。(該当図:詳細図No.6/No.7) アンダーパス

注1 表面雨量指数：短時間強雨による浸水害の危険度の高まりを把握するための指標。降った雨が地中に浸み込みますに、地表面にどれだけ溜まっているかを指數化したもの。

注2 土壤雨量指数：大雨による土砂災害の危険度の高まりを把握するための指標。降った雨が土壤中にどれだけ溜まっているかを指數化したもの。

洪水ハザード情報について

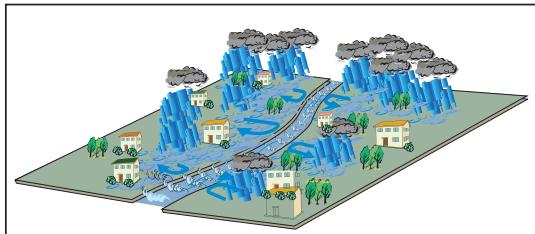
H27年の水防法改正に基づき、最上川・鮭川・角川で浸水域の公表がありました。以下の情報を参考に、洪水時における対応についてあらかじめ確認しておきましょう。

1 沼の種類

- 雨量の増加によってもたらされる沼には、川から水があふれたり堤防が決壊して起こる「外水沼」と、街中の排水が間に合わず、排水路などからあふれ出す「内水沼」の2タイプがあります。

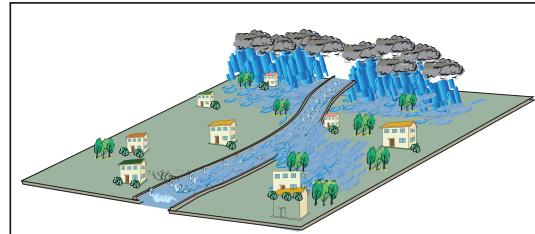
内水沼

その場所に降った雨水や、周りから流れ込んできた水がはけきれないままおきる洪水。川の水位が何mに達すれば警報を出すなどの対応が難しいため、注意が必要。



外水沼

大雨の水が川に集まり、川の水かさが増し堤防を越える。あるいは堤防を決壊させて川の水が外にあふれておきる洪水。沼が起きると一気に水かさが増しますので、最大の注意が必要。



2 説明(外水沼)

- この「マップ」で使用しているハザード情報は、3河川が、大雨によって沼した場合、洪水が想定される区域とその浸水の深さを示したもの。
- 雨の降り方によっては、想定とは異なる浸水深となったり、地図に表示された浸水区域以外でも浸水することがあります。
- 川が沼しない場合でも、低い土地などは浸水被害(床上・床下浸水など)が起こる場合があります。十分注意しましょう。



河川浸水の改正後の目安

5.0m 以上の区域	——
3.0m~5.0m 未満の区域	2階の軒下まで浸水する程度
0.5~3.0m 未満の区域	1階の全てが浸水する程度
0~0.5m 未満の区域	大人の膝まで浸水する程度

3 洪水情報の種類

洪水の危険性が高まった際に発表される情報

洪水注意報(気象庁)

- 洪水によって災害がおこる恐れがある場合、その旨を注意して行う予報。

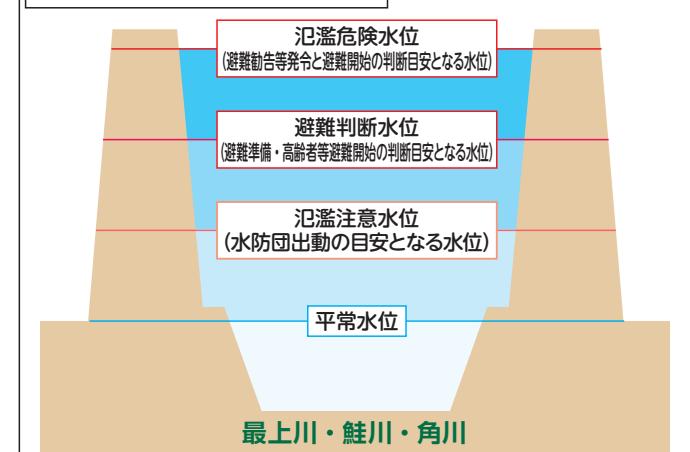
洪水警報(気象庁)

- 洪水によって重大な災害がおこる恐れがある場合、その旨を警告して行う予報。

指定河川洪水予報など

- 最上川・鮭川については、山形地方気象台の予測する降水量をもとに、河川を管理する新庄河川事務所が河川水位の危険度を予測し、共同発表します。
- 角川については、水位周知河川に指定されており、避難判断水位に達したときに山形県が「避難判断水位到達情報」を発表します。

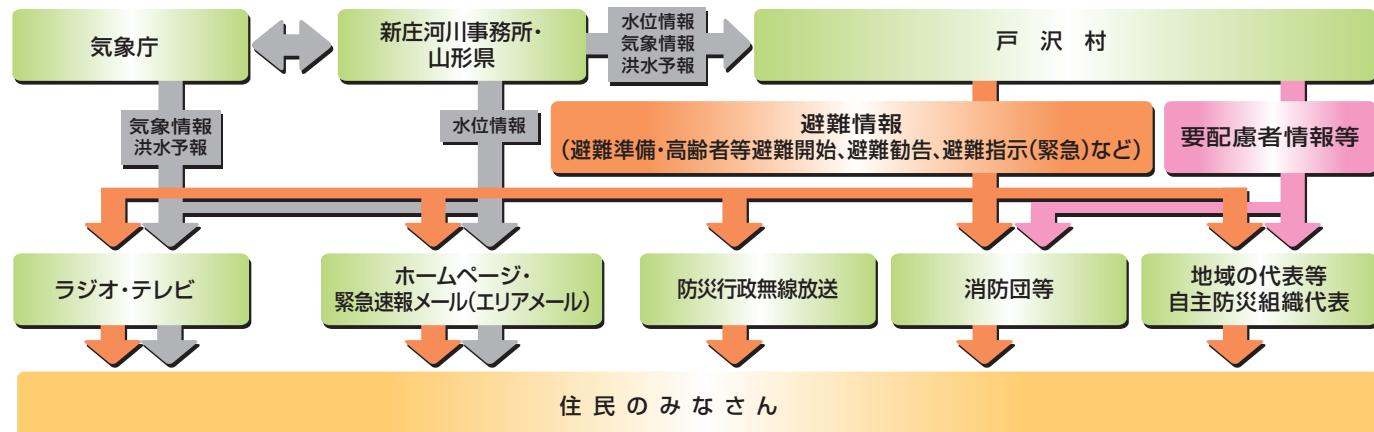
水位とともに判断基準イメージ



※基準水位や現況水位は、「山形県河川・砂防情報システム」で確認できます。
<http://www.kasen.pref.yamagata.jp/bousai/>

4 洪水情報の伝達ルート(土砂災害情報も同じ)

- 気象の異常に対して、下図の伝達ルートで皆さんへお知らせします。



避難情報の伝達ルートがオレンジ色になります。

情報がなくても、異常気象(雷雨や異常な降雨)を感じたときには、避難の準備が必要です。危険を感じたときには、速やかに避難しましょう。

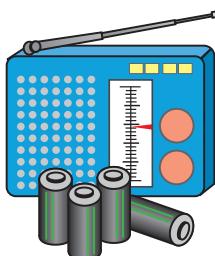
非常時持出品の準備&チェック

いざというときすぐに持ち出せるように、日ごろから準備・点検しておきましょう。

非常時持出品(例)

事前に準備出来ているか、チェック☑しましょう。

携帯ラジオ



- ラジオ
- 電池(多めに用意)

救急医療品



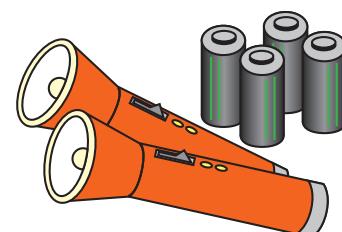
- 常備薬
- きず薬
- かぜぐすり
- 鎮痛剤
- ばんそうこう
- 包帯
- 胃腸薬

貴重品



- 現金
- 印鑑
- 健康保険証
- 預貯金通帳
- 免許証
- 権利証書

懐中電灯



- 懐中電灯(出来れば一人にひとつ)
- 電池(多めに用意)

非常食品等



- 非常用食品
- ミネラルウォーター
- 離乳食
- 粉ミルク

その他

- 衣類(下着・上着など)
- 生理用品
- 缶切り
- 紙皿
- 水筒
- ウェットティッシュ
- ヘルメット
- 防災マップ(本書)
- タオル
- 紙おむつ
- 桜抜き
- 紙コップ
- カッパ
- ライター
- ラップフィルム
(止血や食器にかぶせて使う)

非常時用備蓄品(例)

災害復旧までの数日間(一週間)を生活できるようにチェック☑しましょう。

飲料水



- 飲料水としてペットボトルや缶入りのミネラルウォーター(1人1日3リットルを目安に)
又は貯水した防災タンクなど

非常食品



- お米(アルファー化米など)
- 缶詰・レトルト食品
- 梅干し・調味料など
- ドライフルーツ・チョコレート・アメ(菓子類など)

燃 料



- 卓上コンロ
- ガスボンベ
- 固形燃料

その他の備蓄品



- 生活用水(風呂・洗濯機などに貯水)
- 毛布・寝袋・洗面用具・ドライシャンプーなど
- 調理器具(なべ・やかんなど)
- バケツ・各種アウトドア用品など

非常時持出品は定期的に点検を!

いざというときに支障がないように、食品類の賞味期限や持出品の不備を定期的に点検しましょう。

避難生活が長引くときに便利なもの

携帯トイレ、使い捨てカイロ、裁縫セット、ガムテープ、地図、さらし、筆記用具(マジックなど)、スコップなど。



震災時に役に立ったもの

ポリタンク、ホイッスル、予備の眼鏡・補聴器、ビニールシート、新聞紙、補助用具としてロープ、スコップ、バールやハンマー、のこぎり、車のジャッキなど。

非常時持出品は、使用するときに支障ないように、定期的に点検しておきましょう。とくに食品や飲料水の賞味期限はまことにチェックし、賞味期限がせまったものから順に入れ替えておきましょう。

わが家の防災対策&チェック

家の中の安全対策

事前に準備出来ているか、チェック✓しましょう。

家の中に逃げ場としての安全な空間をつくる

部屋がいくつもある場合は、人の出入りが少ない部屋に家具をまとめて置く。無理な場合は、少しでも安全なスペースができるよう配置換えする。



安全に避難するため、出入口や通路にものを置かない

玄関などの出入口までの通路に、家具など倒れやすいものを置かない。また、玄関にいろいろものを見くと、いざというときに、出入口をふさいでしまうことも。



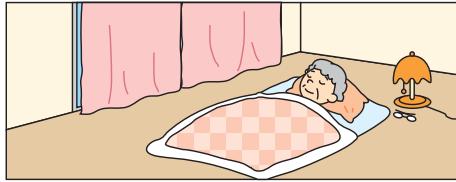
家具の転倒を防ぐ

家具と壁や柱の間に遊びがあると倒れやすい。家具の下に小さな板などを差し込んで、壁や柱によりかかるように固定する。また、金具や固定器具を使って転倒防止策を万全に。



子どもやお年寄りのいる部屋、寝室には家具を置かない

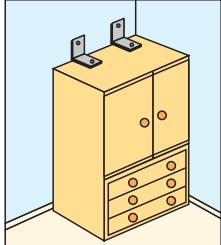
就寝中に地震に襲われると危険。子どもやお年寄り、病人などは逃げ遅れる可能性がある。



家具の転倒、落下を防ぐポイント

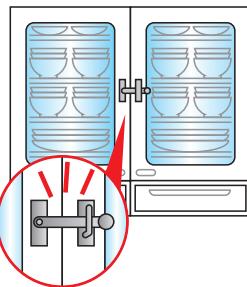
タンス・本棚

L字金具や支え棒などで固定する。二段重ねの場合はつなぎ目を金具でしっかりと連結しておく。



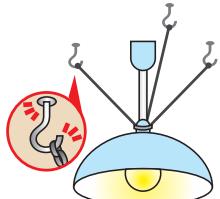
食器棚

L字金具などで固定し、棚板には滑りにくい材質のシートやふきんなどを敷く。重い食器は下の方に置く。扉が開かないように止め金具をつける。



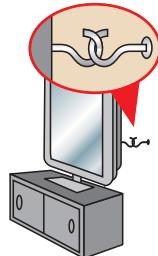
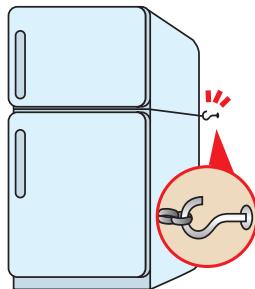
照 明

チェーンと金具を使って数箇所止める。蛍光灯は蛍光管の両端を耐熱テープで止めておく。



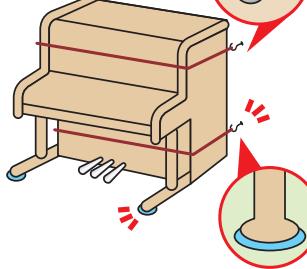
冷蔵庫

2ドアの場合は、扉と扉の間に針金などを巻いて、金具で壁に固定する。



テレビ

できるだけ低い位置に固定して置く(家具の上はさける)。またテレビの上には物を置かない。



ピアノ

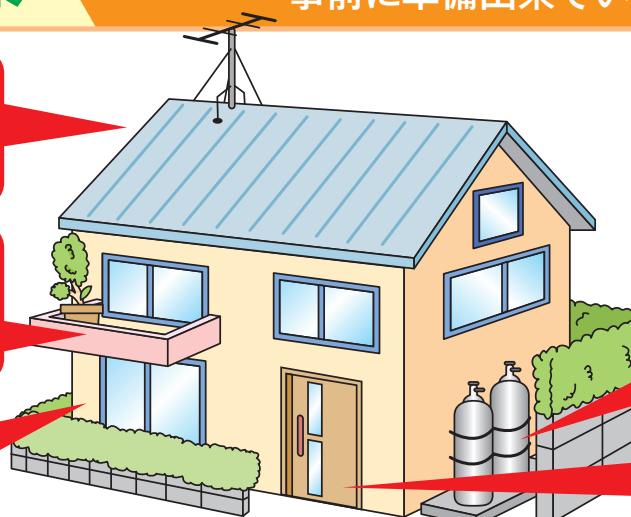
本体にナイロンテープなどを巻きつけ、取りつけた金具などで固定する。脚には、すべり止めをつける。

家の周囲の安全対策

事前に準備出来ているか、チェック✓しましょう。

屋 根

不安定な屋根のアンテナや、屋根瓦は補強しておく。



ベランダ

植木鉢などの整理整頓を。落ちる危険がある場所には何も置かない。

窓ガラス

飛散防止フィルムをはる。

ブロック塀・門柱

土中にしっかりと基礎部分がないもの、鉄筋が入っていないものは危険なので補強する。ひび割れや鉄筋のさびも修理する。

プロパンガス

ボンベを鎖で固定しておく。

非常口の確保

地震対策について 地震発生! そんなときどうする

地震発生時の時間経過別行動マニュアル

地震
発生

1~2分

最初の大きな揺れは約1分間

- まず、身を守る安全確保 (手近な座布団などで頭を保護)
- 大きな揺れの場合は、身の安全を確保し、すばやく屋外の安全な場所に一時避難する



3分

みんなの無事を確認 火災の発生を防ぐ

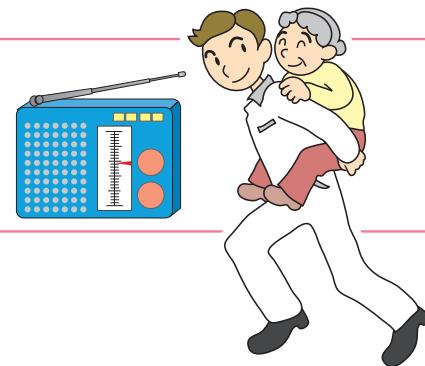
- | | |
|----------------|---|
| 隣近所に
声をかけよう | ●要配慮者の安全確保 隣近所で助け合う |
| 出火防止
初期消火 | ●行方不明者はいないか ●ケガ人はいないか |
| | ●初期消火 ●消火器を使う ●バケツリレー 風呂の水はため置きをしておく |
| | ●漏電・ガス漏れに注意 電気のブレーカーを下ろす・ガスの元栓を閉める ●余震に注意 |



5分

ラジオなどで正しい情報を

- 大声で知らせる ●救出・救護を ●防災機関、自主防災組織の情報を確認
- デマにまどわされないように ●避難時に車は極力使用しない
- 電話は緊急連絡を優先する ●災害用伝言ダイヤルの活用



10分
数時間

3日

協力して消火活動、救出・救護活動を

- 水、食料は蓄えているものでまかなう 3日間の飲料水と食料の備蓄をしておく
- 災害・被害情報の収集 ●無理はやめよう
- 助け合いの心が大切 ●壊れた家に入らない

特別警報をご存知ですか?

特別警報は、大規模な災害の発生が切迫していることをお知らせする警報です。
普段からの備えと早め早めの行動があなたや身近な人の命を守ります。

気象等に関する特別警報の発表基準

現象の種類	基 準
大雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、あるいは数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合
暴風	暴風が吹くと予想される場合
高潮	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により高潮になると予想される場合
波浪	高波になると予想される場合
暴風雪	数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合
大雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合

緊急地震速報(震度6弱以上)などを特別警報に位置づけます

現象の種類	基 準
地震(地震動)	震度6弱以上の大きさの地震動が予想される場合(緊急地震速報(震度6弱以上)を特別警報に位置づける。)
火山噴火	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が予想される場合(噴火警報(噴火警戒レベル4以上)及び噴火警報(居住地域)を特別警報に位置づける。)
津波	高いところで3メートルを超える津波が予想される場合(大津波警報を特別警報に位置づける。)

特別警報が発表されたら

- ・尋常でない大雨や暴風等が予想されています。
- ・重大な災害が起こる可能性が非常に高まっています。
- ・ただちに身を守るために最善を尽くしてください。

※気象庁HPより一部抜粋して提供

命を守るために情報の収集に努めてください



気象庁

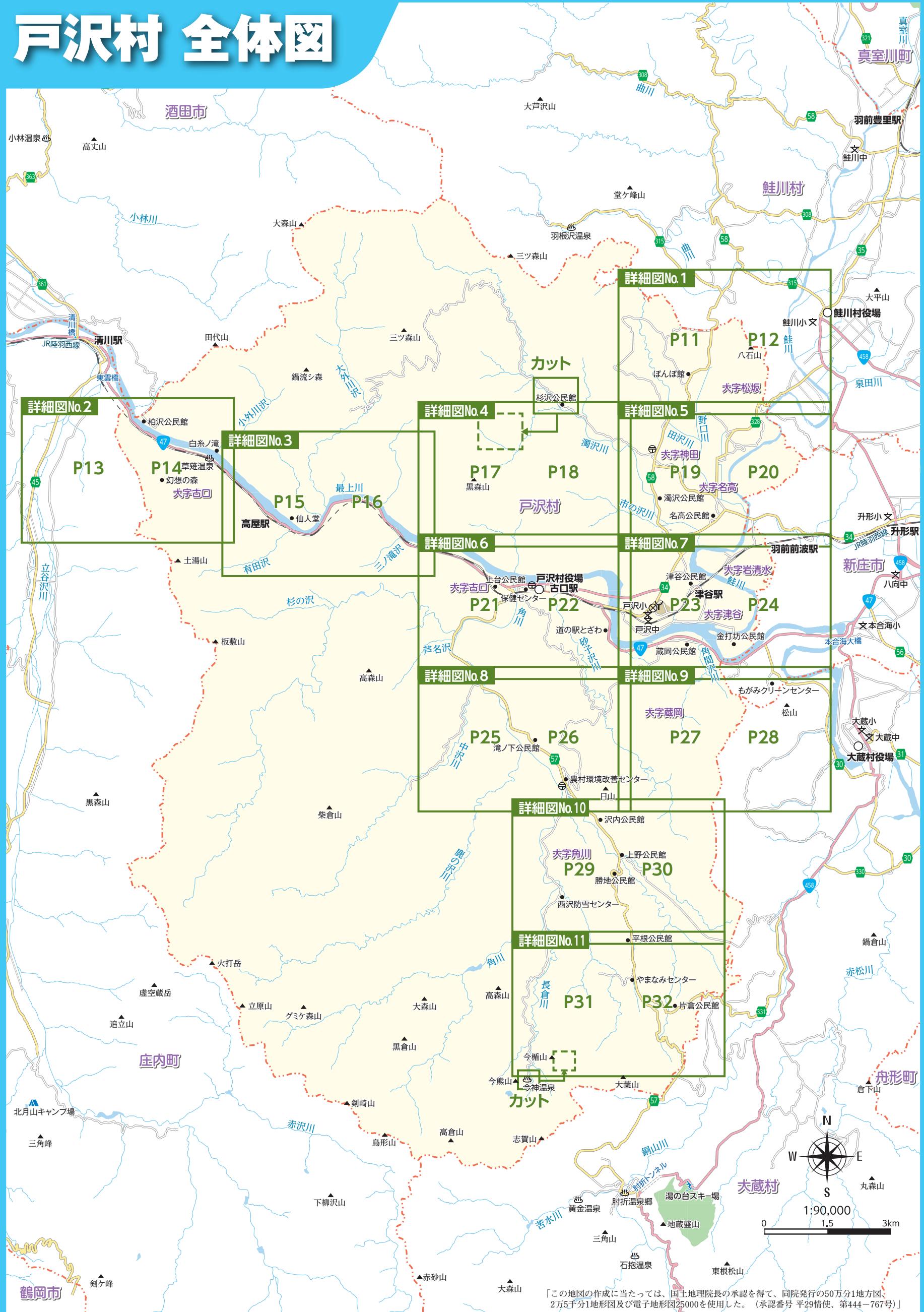
〒100-8122 東京都千代田区大手町1-3-4

電話:03-3212-8341 FAX:03-6689-2917(耳の不自由な方向け)

気象庁ホームページ <http://www.jma.go.jp>

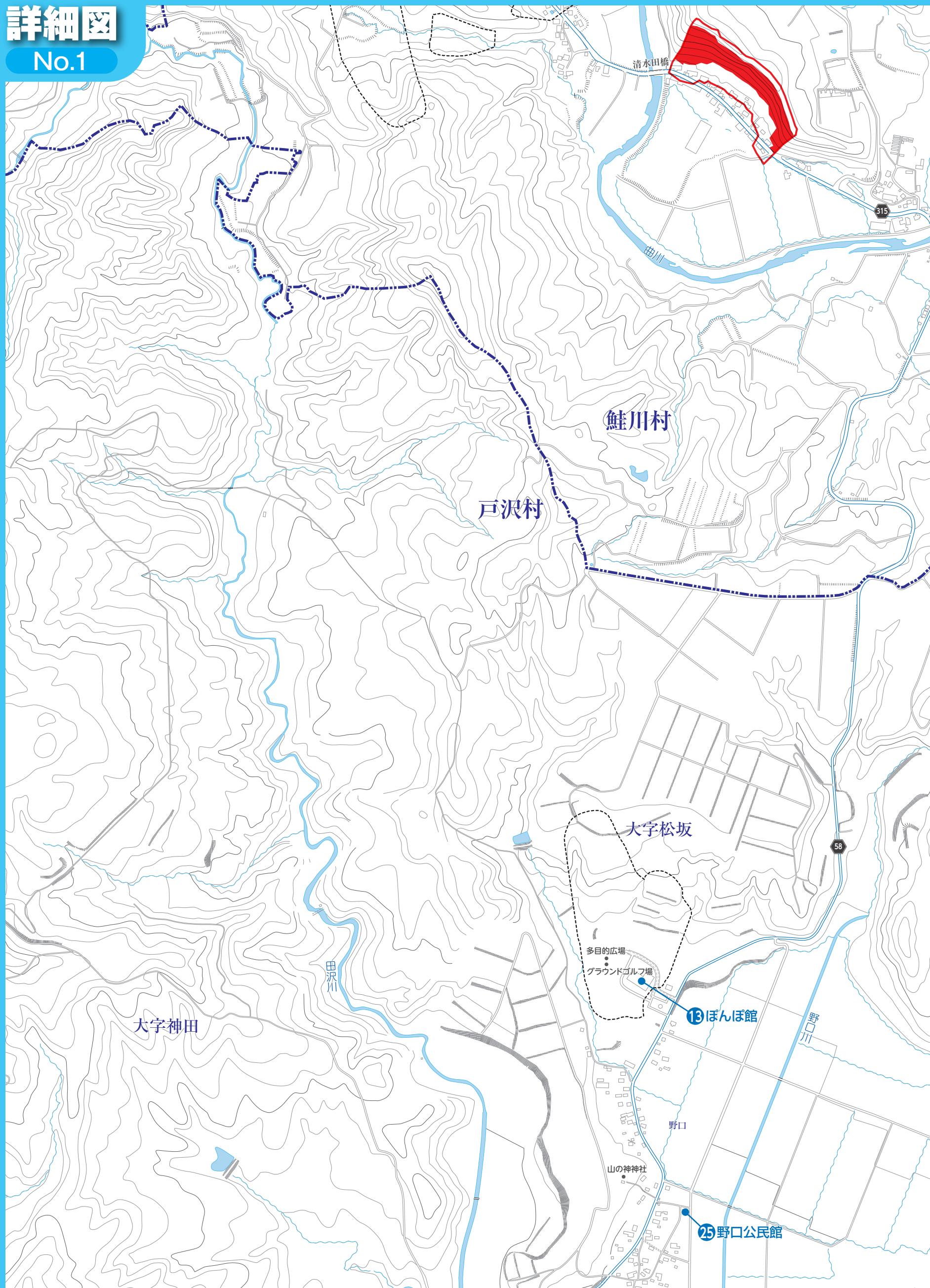
特別警報について <http://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/tokubetsu-keihou/>

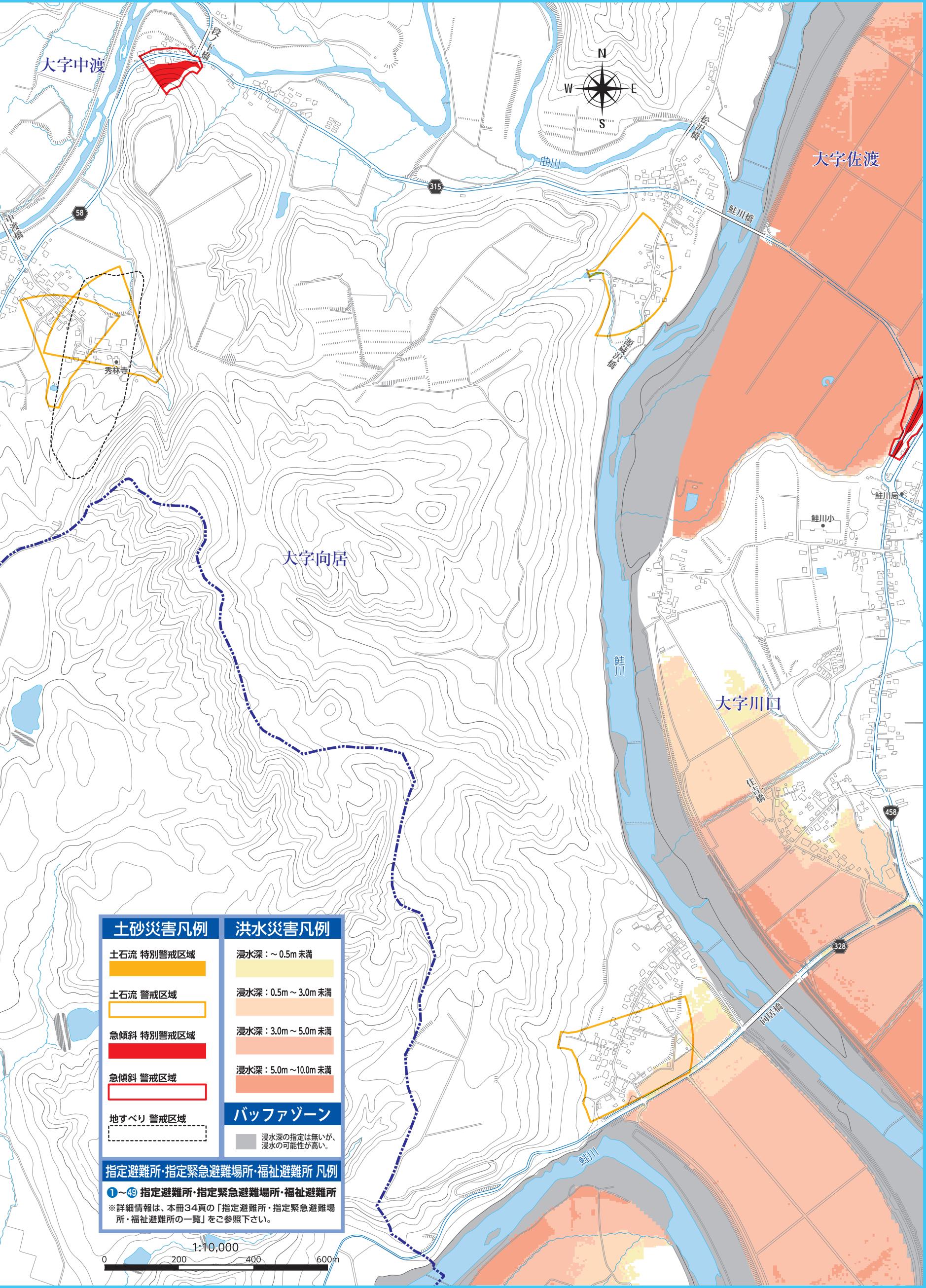
戸沢村 全体図



詳細図

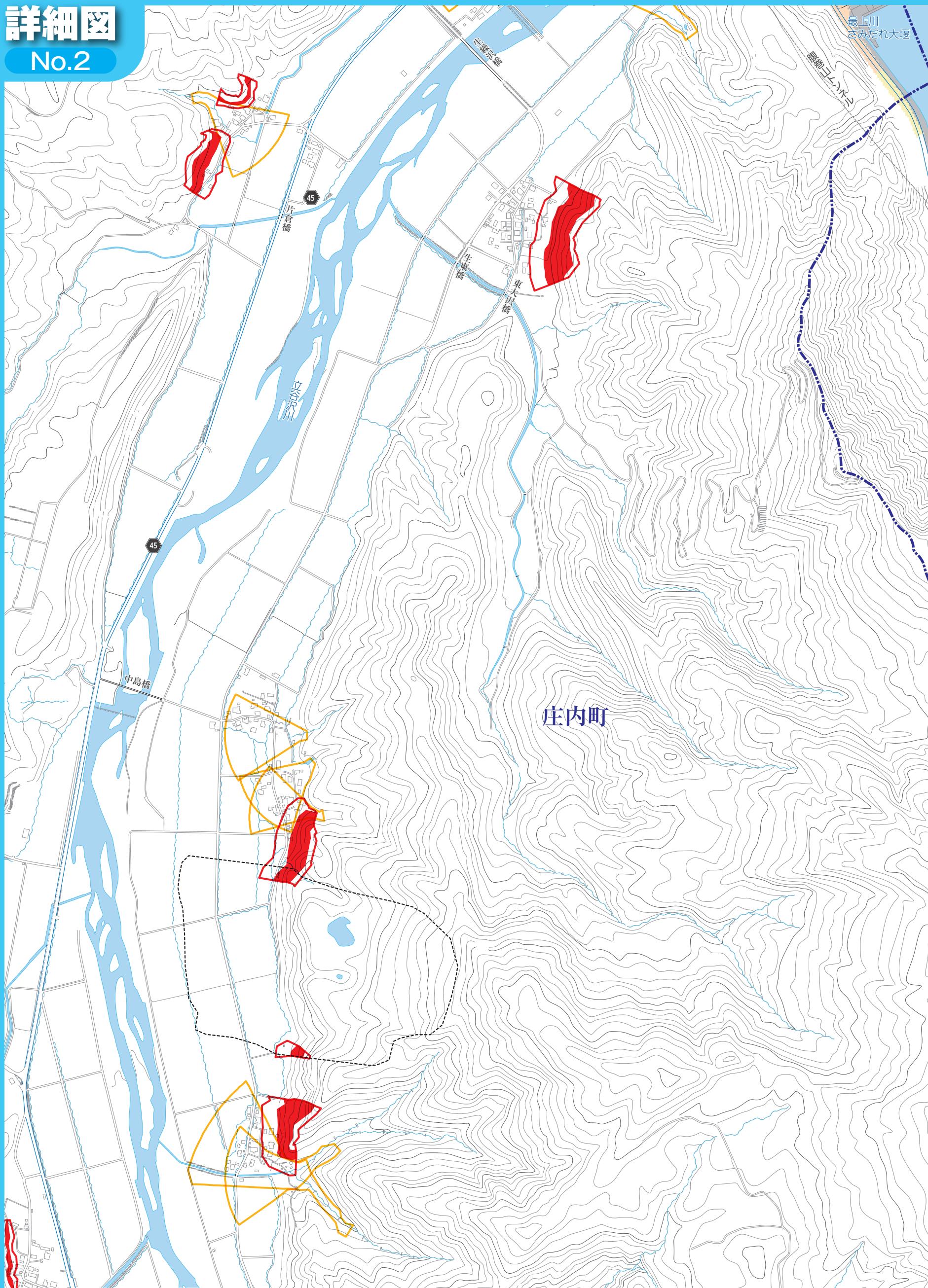
No.1

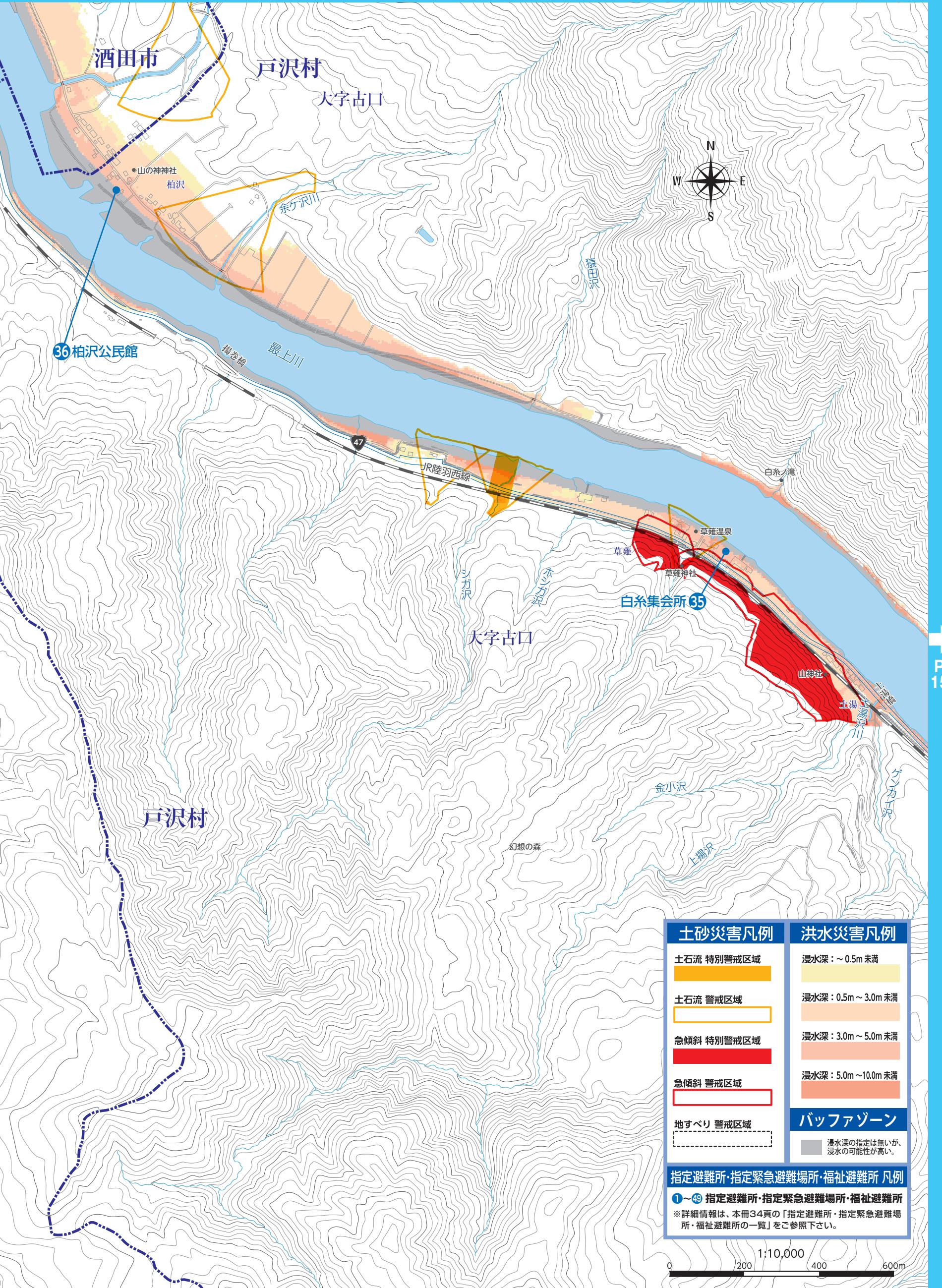




詳細図

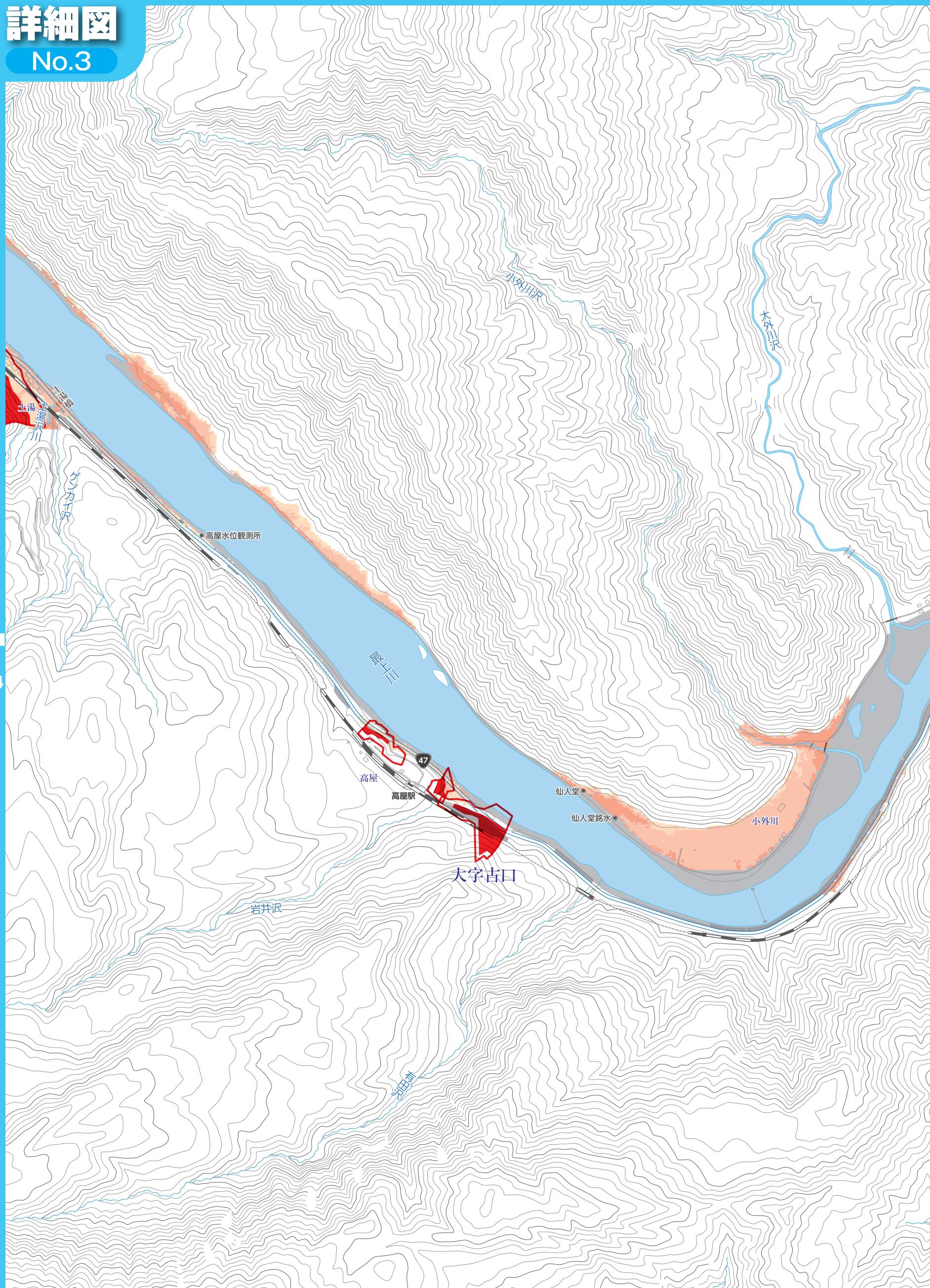
No.2

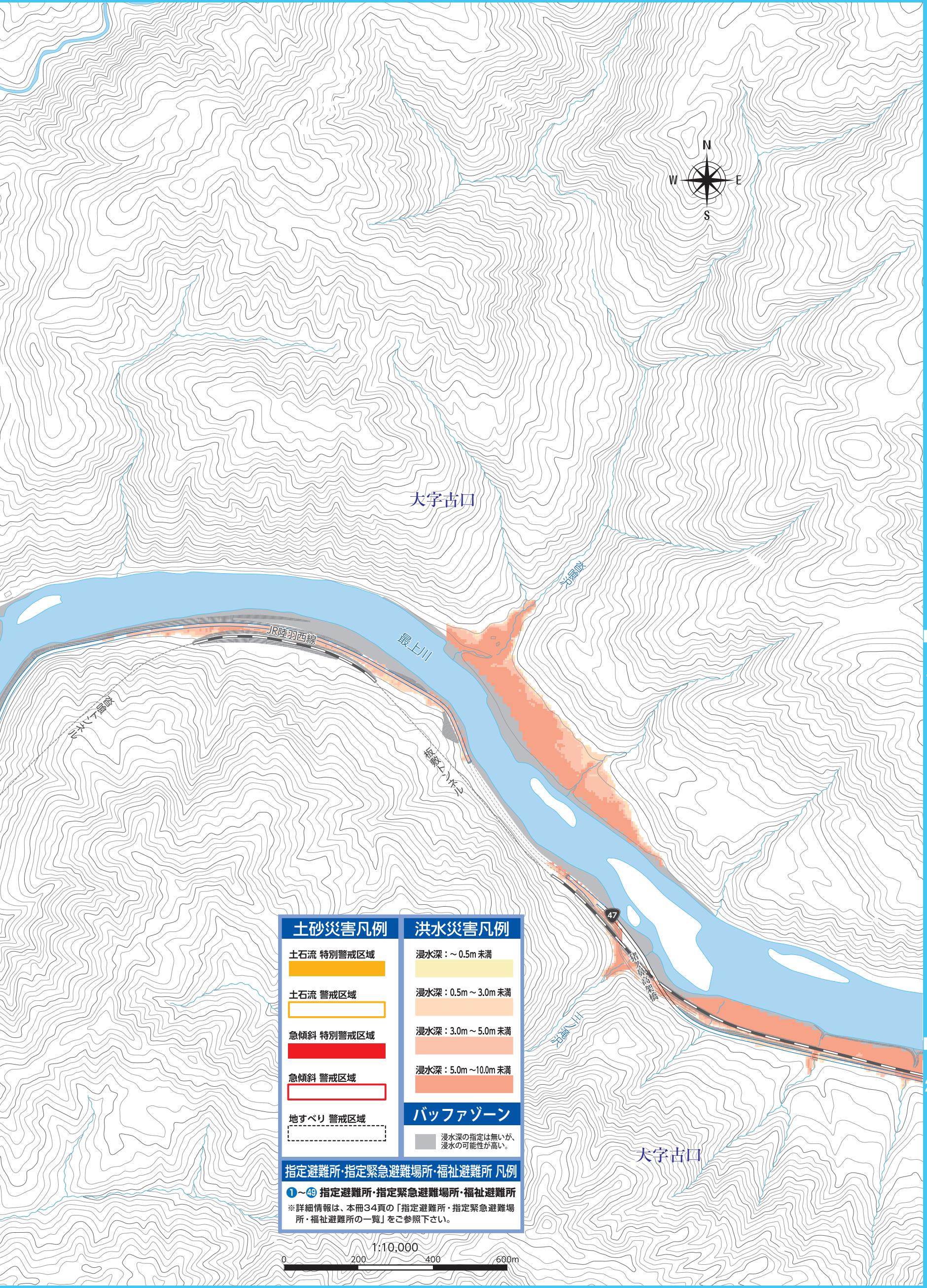




詳細図

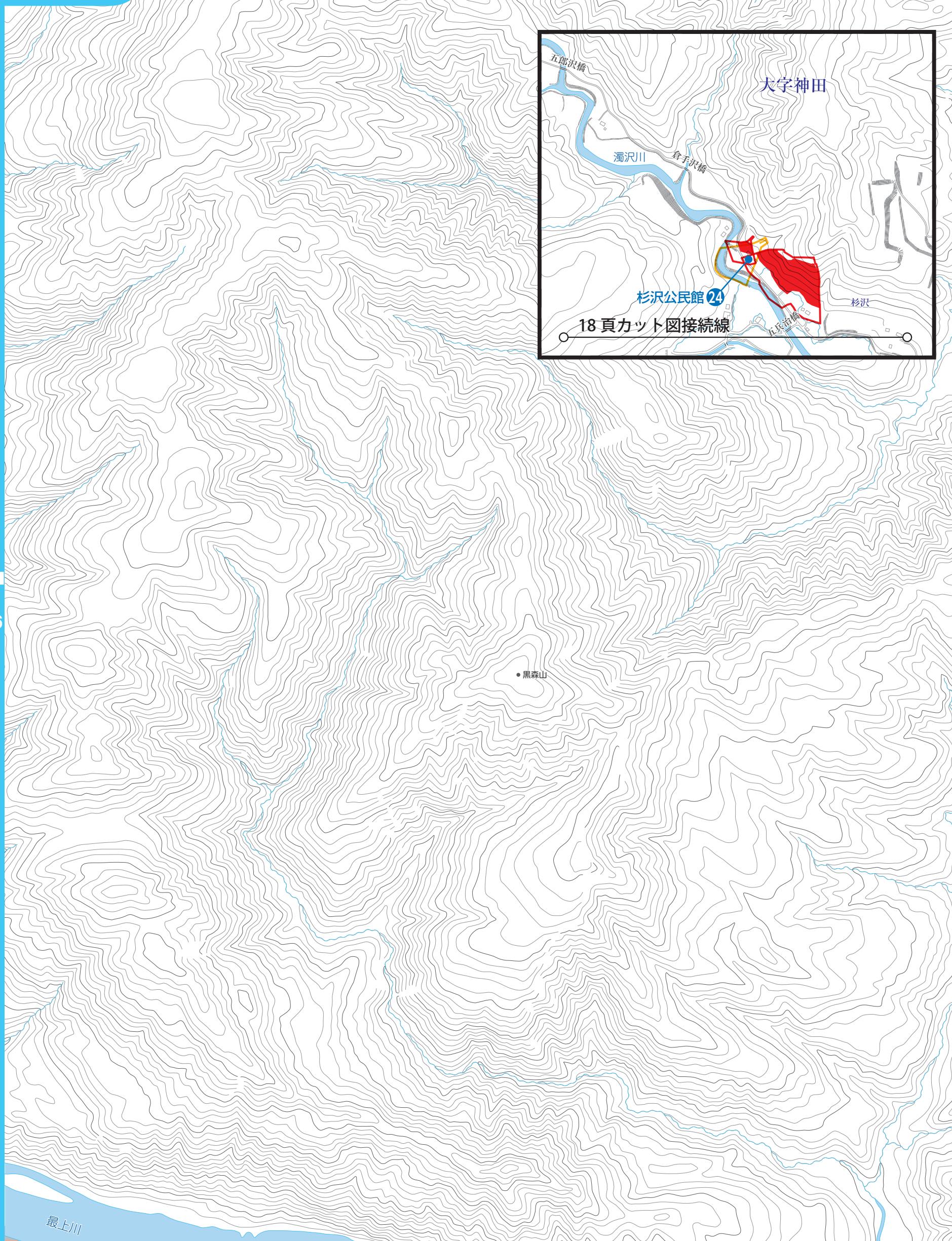
No.3

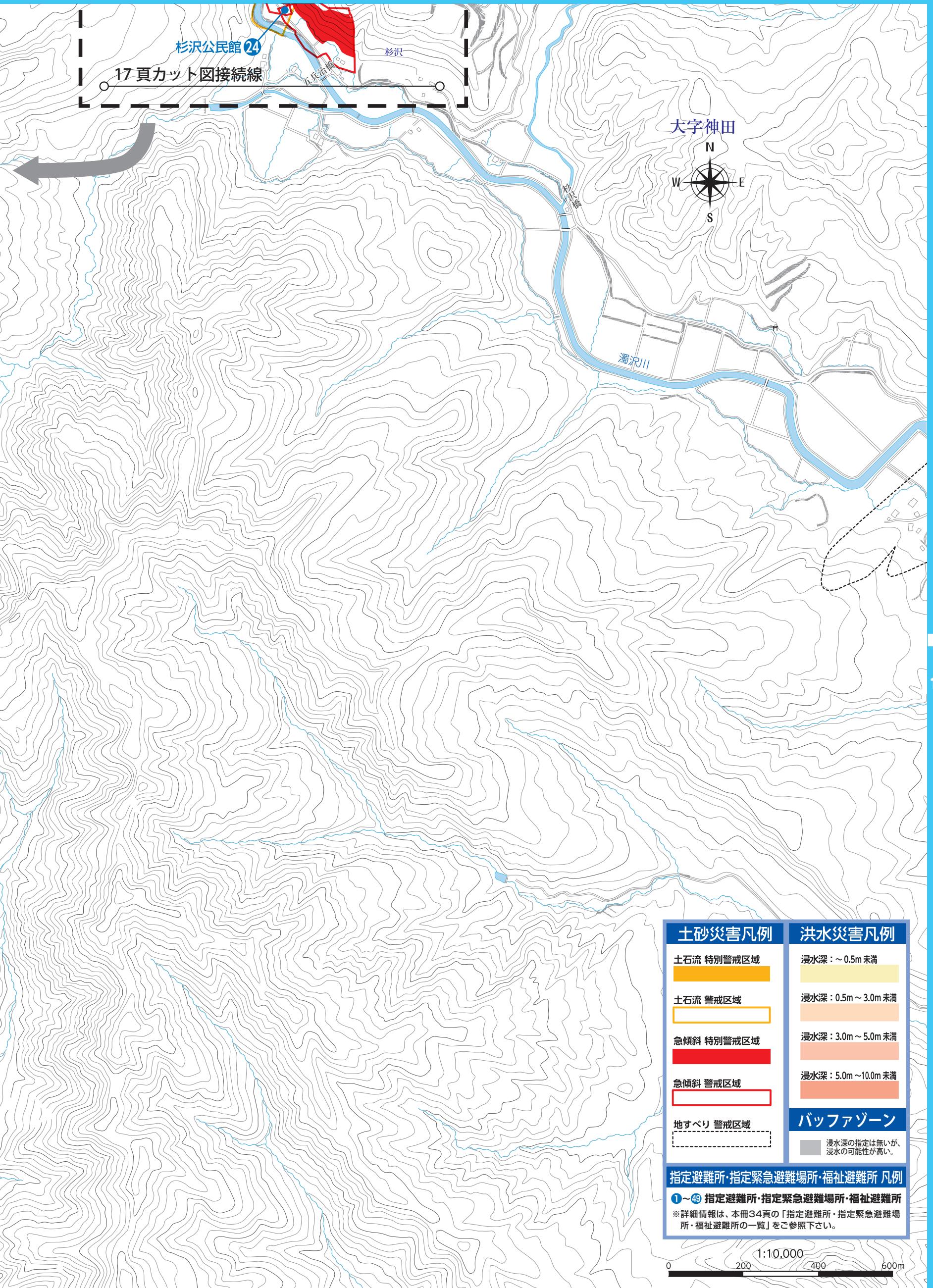




詳細図

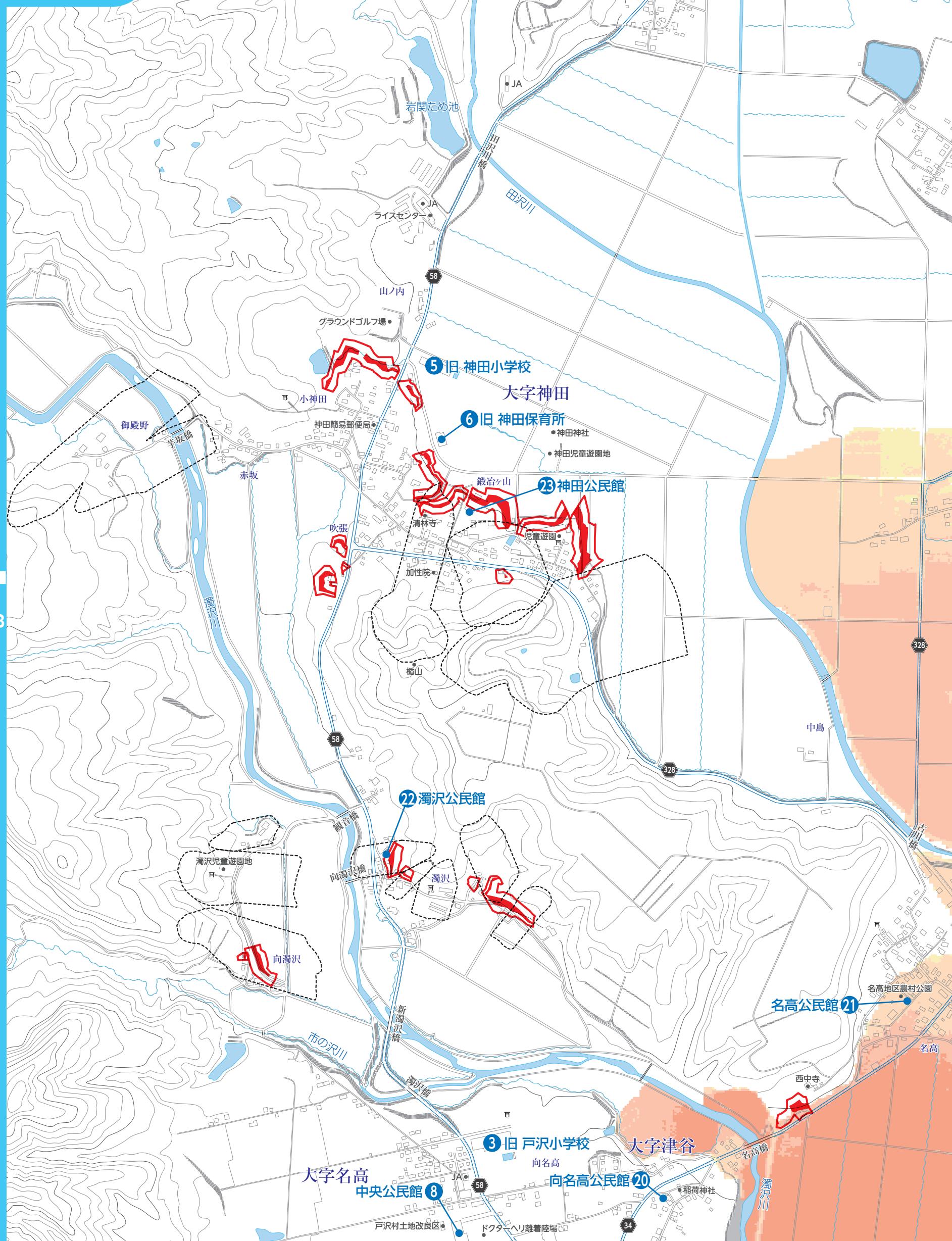
No.4

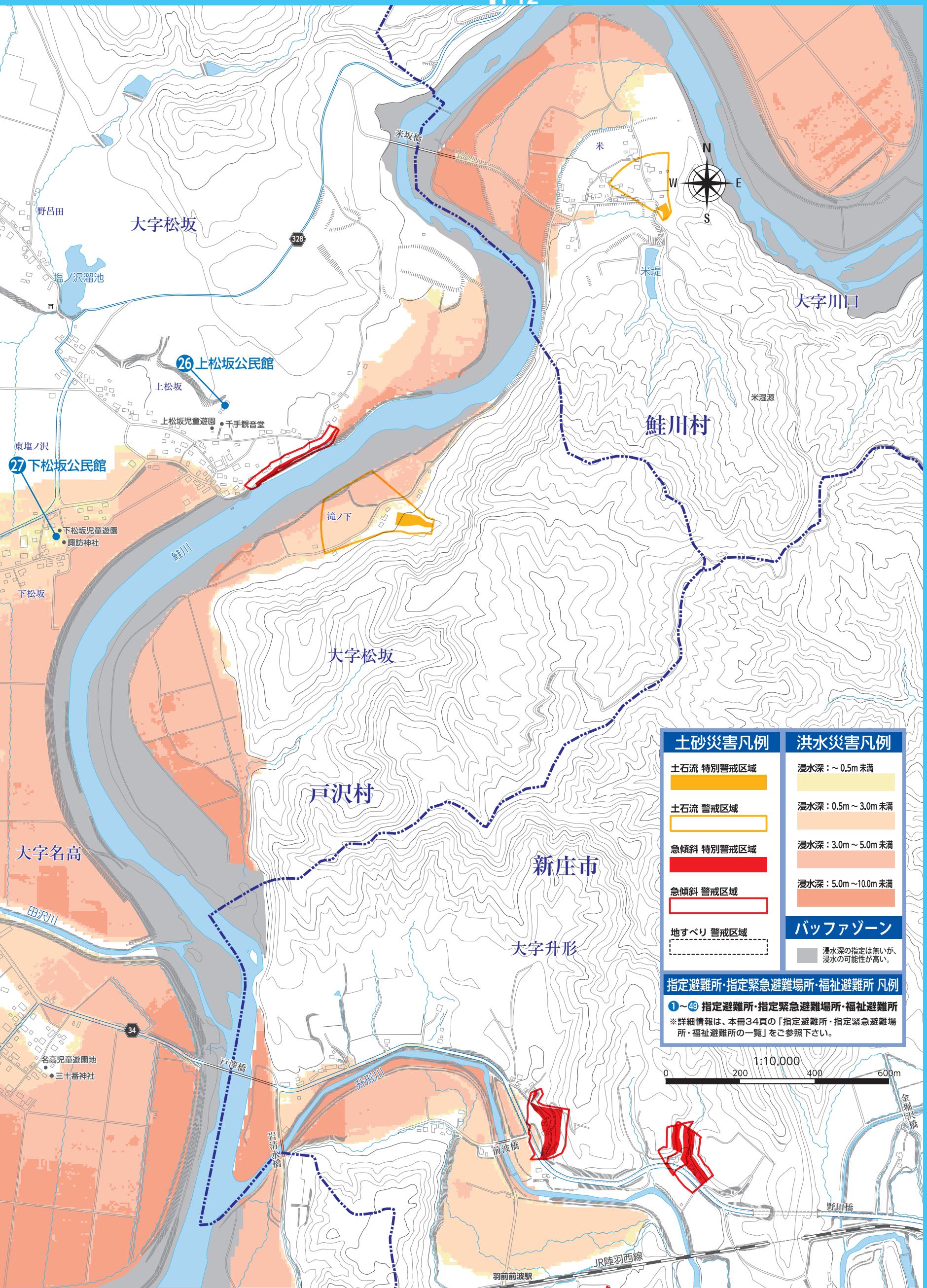




詳細図

No.5



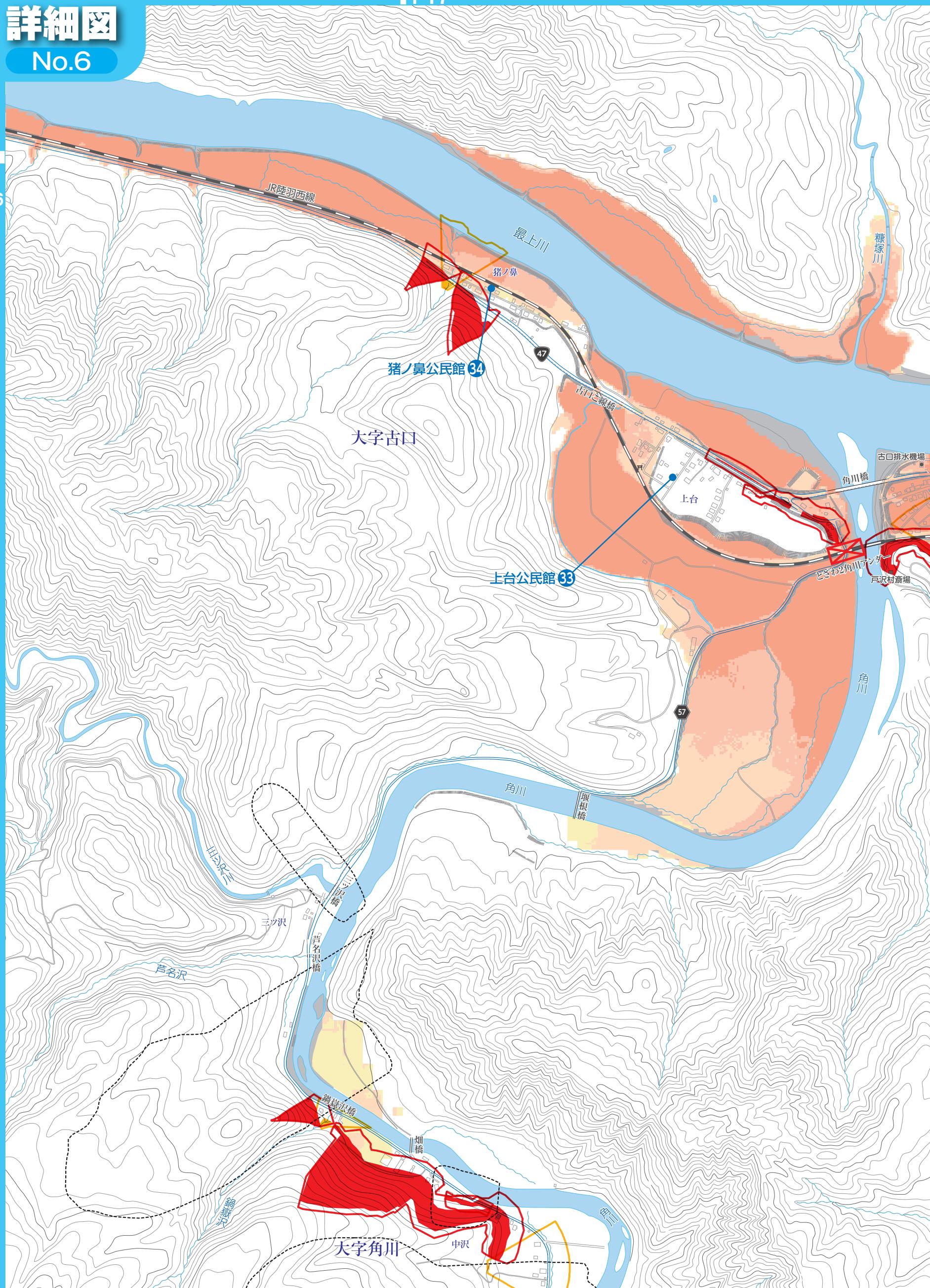


詳細図

No.6

↑P17

P
16





最上川

吉口

12 保健センター

古口

郵便局

戸沢村役場

善念寺

古口駅

JA

古口児童館

稲荷神社

山神社

白山神社

宝蔵寺

戸沢村中央診療所

戸沢村古口農村公園

32 古口公民館

大字古口

砂子沢橋

上真柄

47

JR陸羽西線

国土交通省古口除雪ステーション

JA

村営住宅

47

34

古口大橋自歩道橋

古口大橋

第一最上川橋りょう

P23

大字古口

真柄公民館 31

道の駅とざわ 49

大字蔵岡

古口大橋

第一最上川橋りょう

P23

古口大橋

第一最上川橋りょう

土砂災害凡例

土石流 特別警戒区域

土石流 警戒区域

急傾斜 特別警戒区域

急傾斜 警戒区域

地すべり 警戒区域

洪水災害凡例

浸水深：~ 0.5m 未満

浸水深：0.5m ~ 3.0m 未満

浸水深：3.0m ~ 5.0m 未満

浸水深：5.0m ~ 10.0m 未満

バッファーゾーン浸水深の指定は無いが、
浸水の可能性が高い。**指定避難所・指定緊急避難場所・福祉避難所 凡例**

①～④ 指定避難所・指定緊急避難場所・福祉避難所

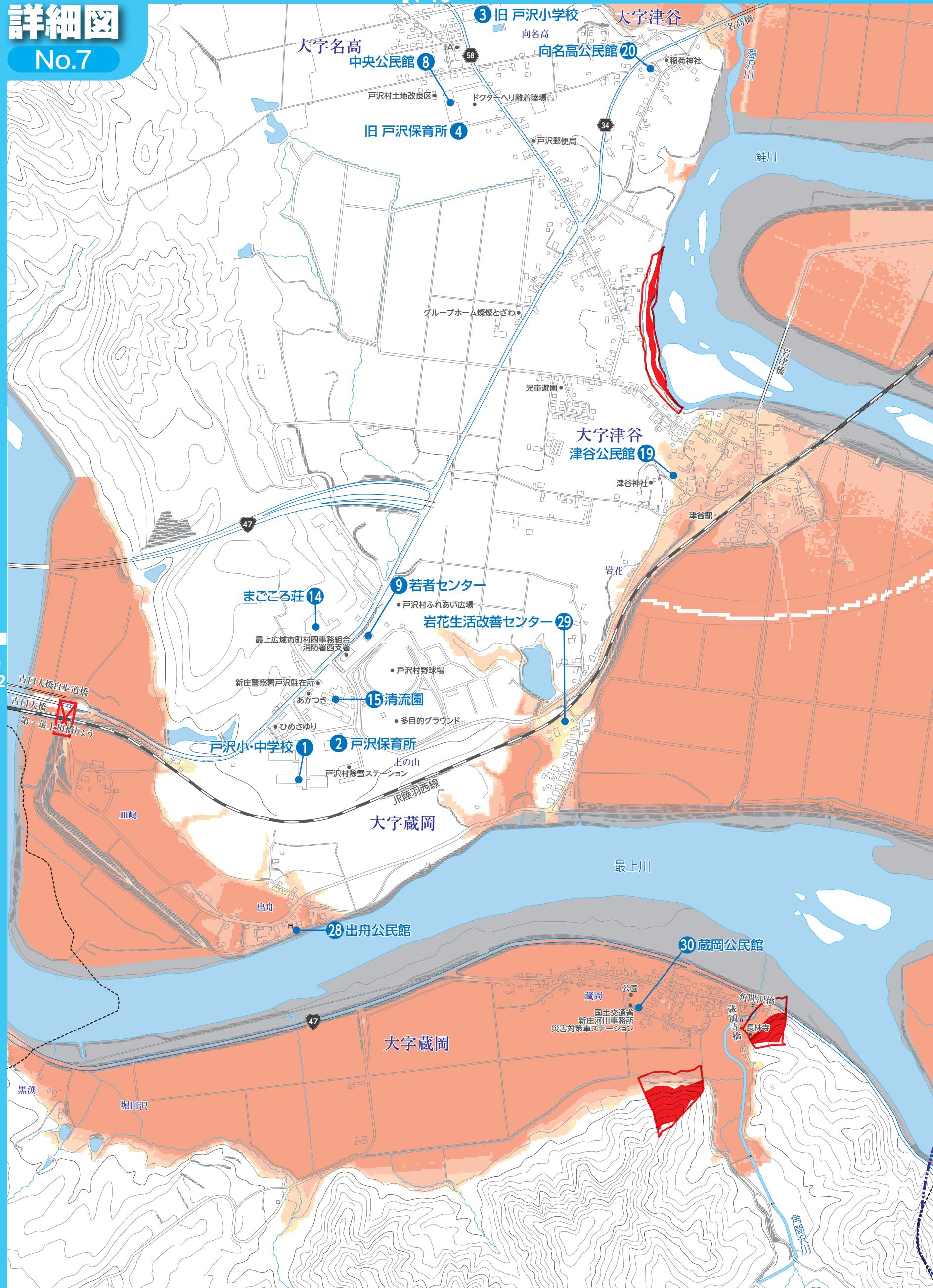
※詳細情報は、本冊34頁の「指定避難所・指定緊急避難場所・福祉避難所の一覧」をご参照下さい。

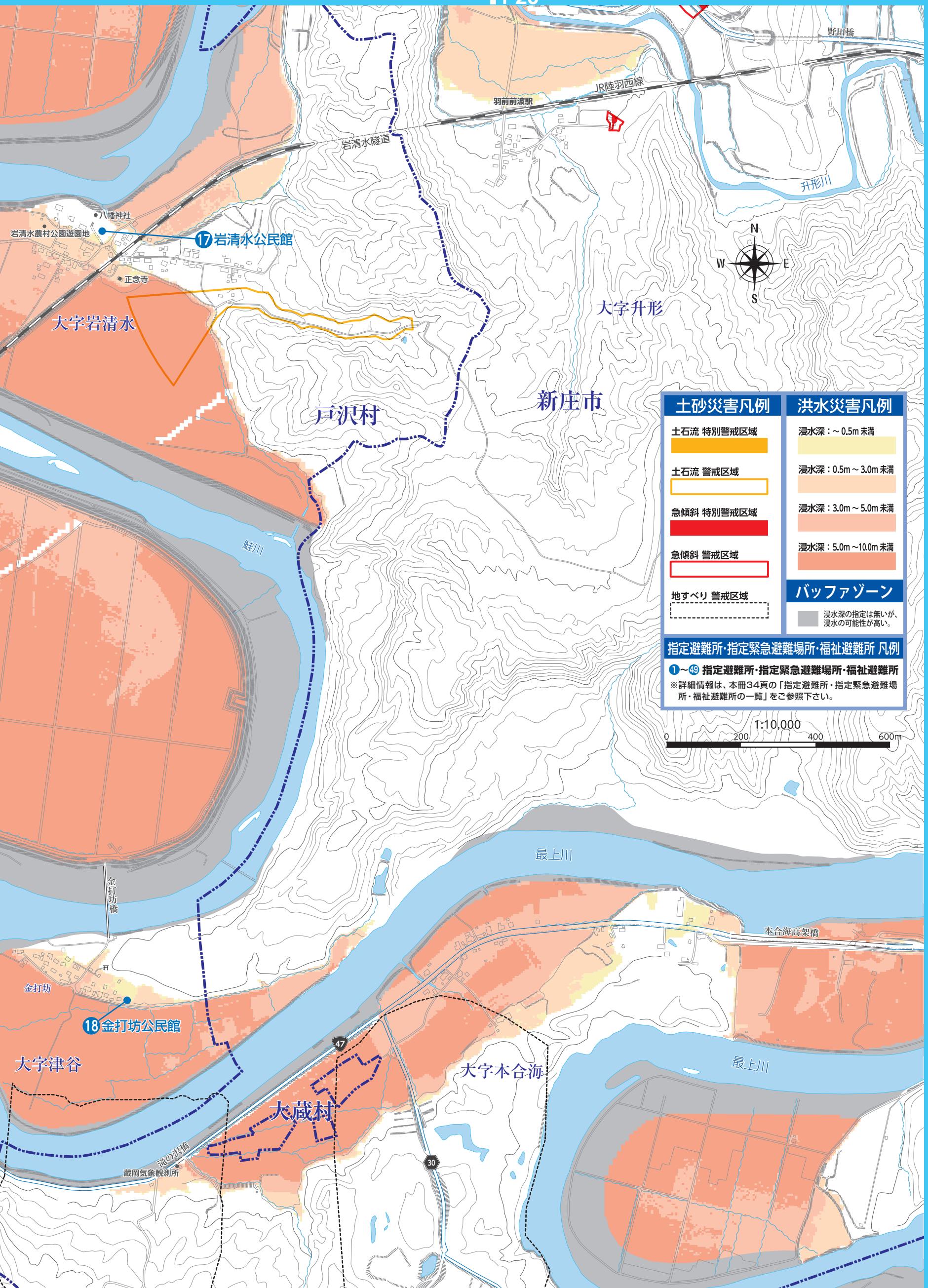
1:10,000
0 200 400 600m

詳細図

No.7

↑P19

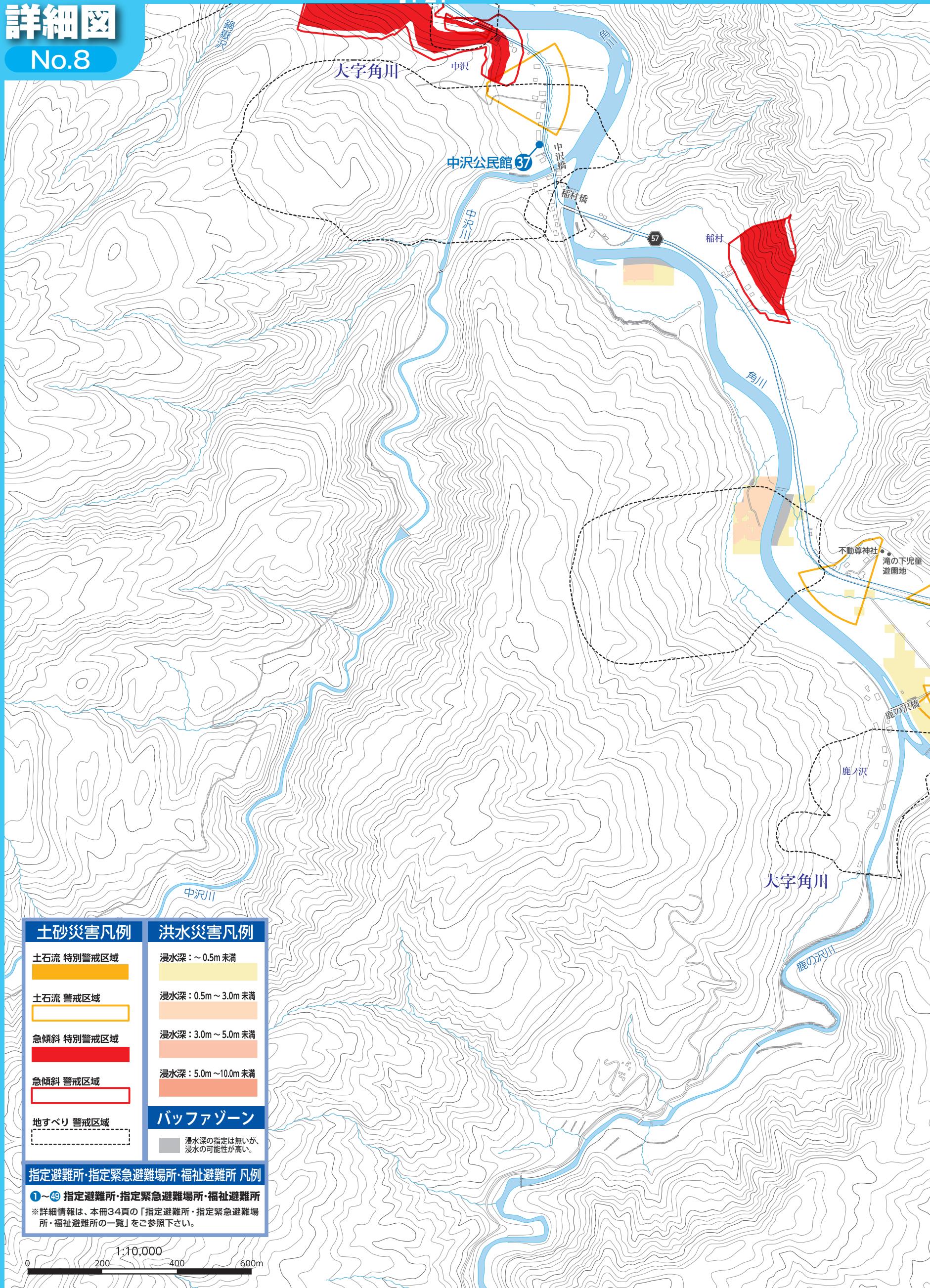


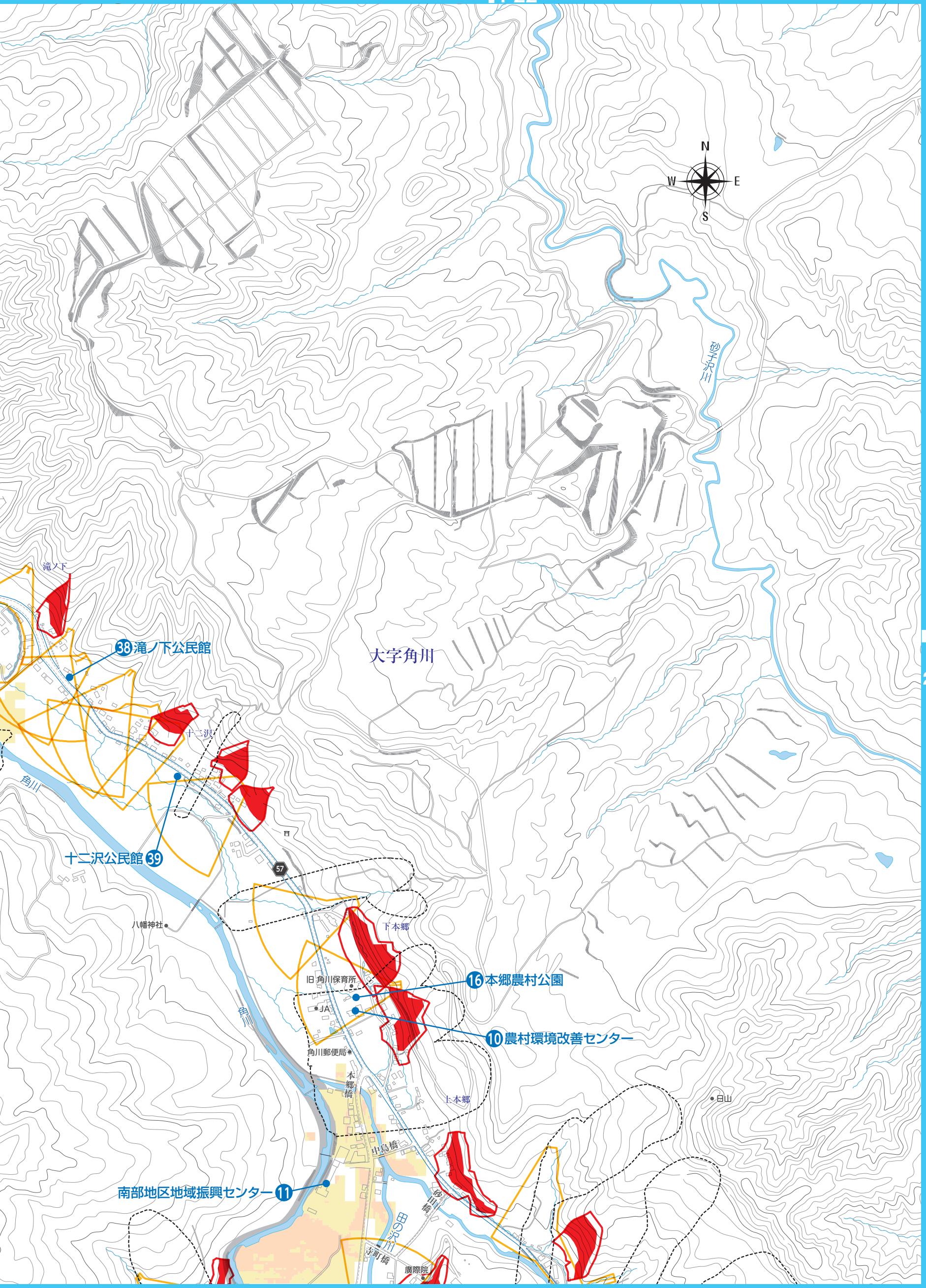


詳細図

No.8

↑P21





詳細図

No.9

↑P23



大字藏岡

角間沢ため池

戸沢村

←
P
26

土砂災害凡例

土石流 特別警戒区域

土石流 警戒区域

急傾斜 特別警戒区域

急傾斜 警戒区域

地すべり 警戒区域

洪水災害凡例

浸水深：～0.5m未満

浸水深：0.5m～3.0m未満

浸水深：3.0m～5.0m未満

浸水深：5.0m～10.0m未満

バッファゾーン

浸水深の指定は無いが、
浸水の可能性が高い。

指定避難所・指定緊急避難場所・福祉避難所 凡例

①～④9 指定避難所・指定緊急避難場所・福祉避難所

※詳細情報は、本冊34頁の「指定避難所・指定緊急避難場所・福祉避難所の一覧」をご参照下さい。

1:10,000

0

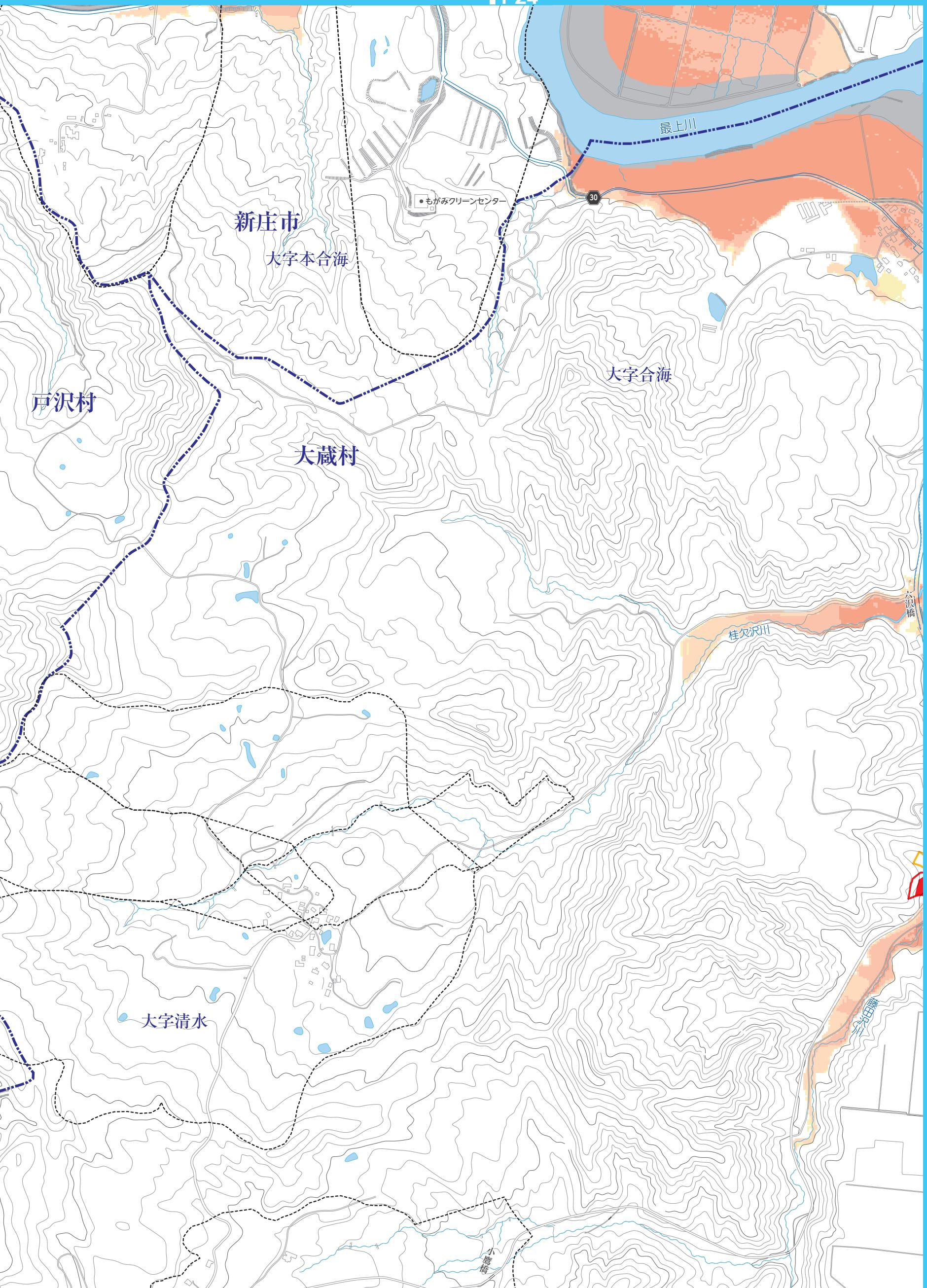
200

400

600m

27

↓P30

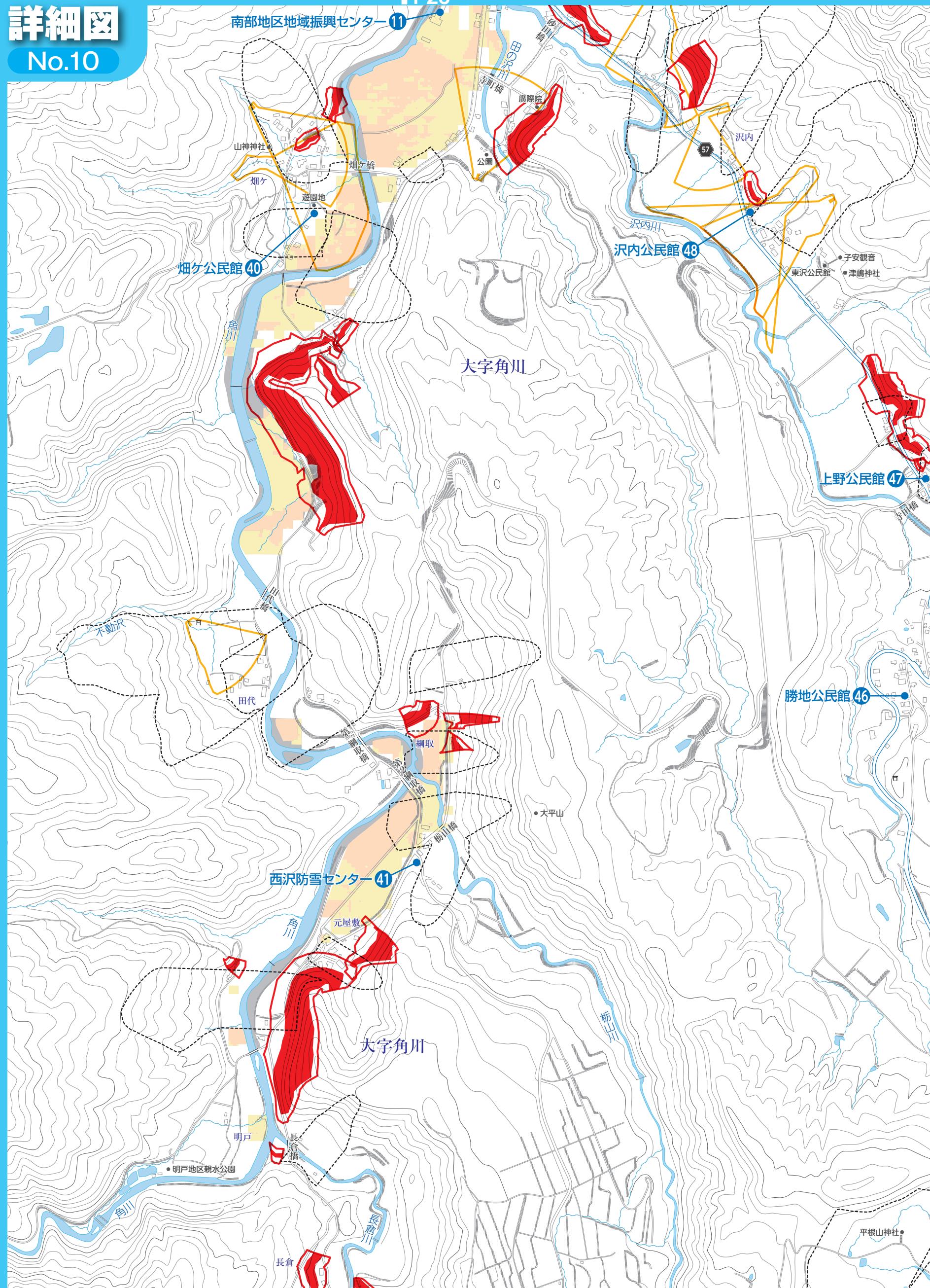


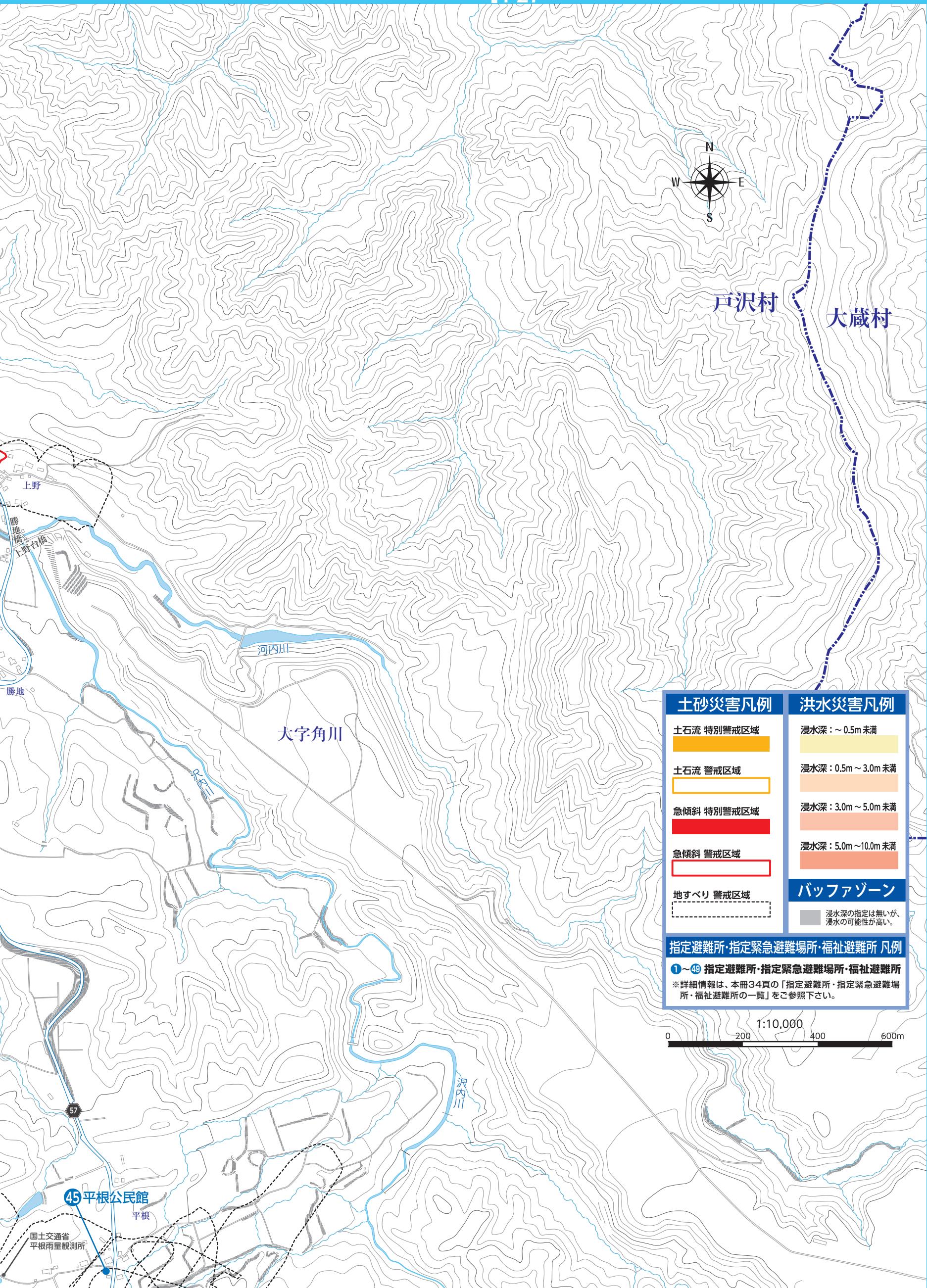
詳細図

No.10

↑P26

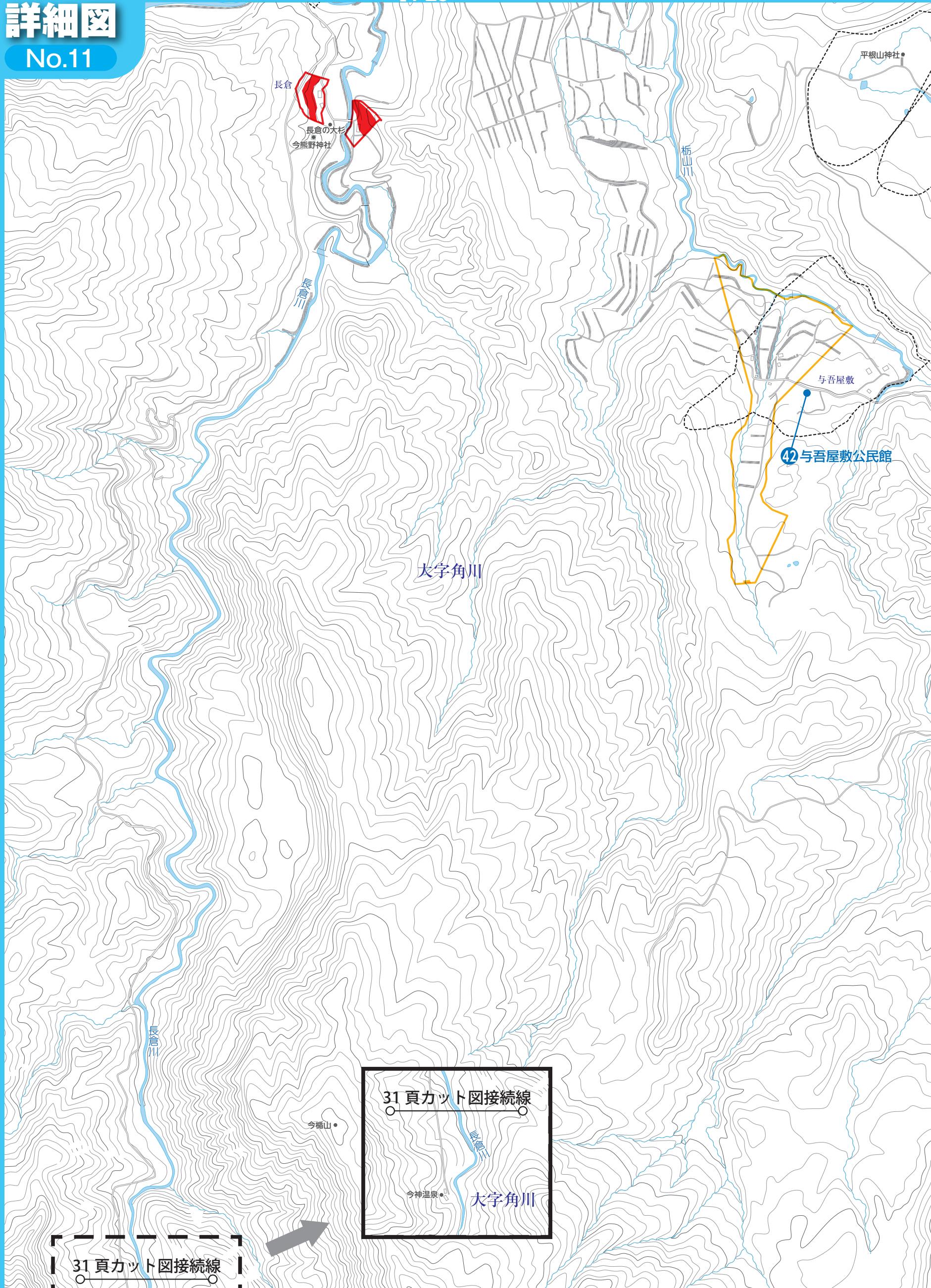
南部地区地域振興センター11

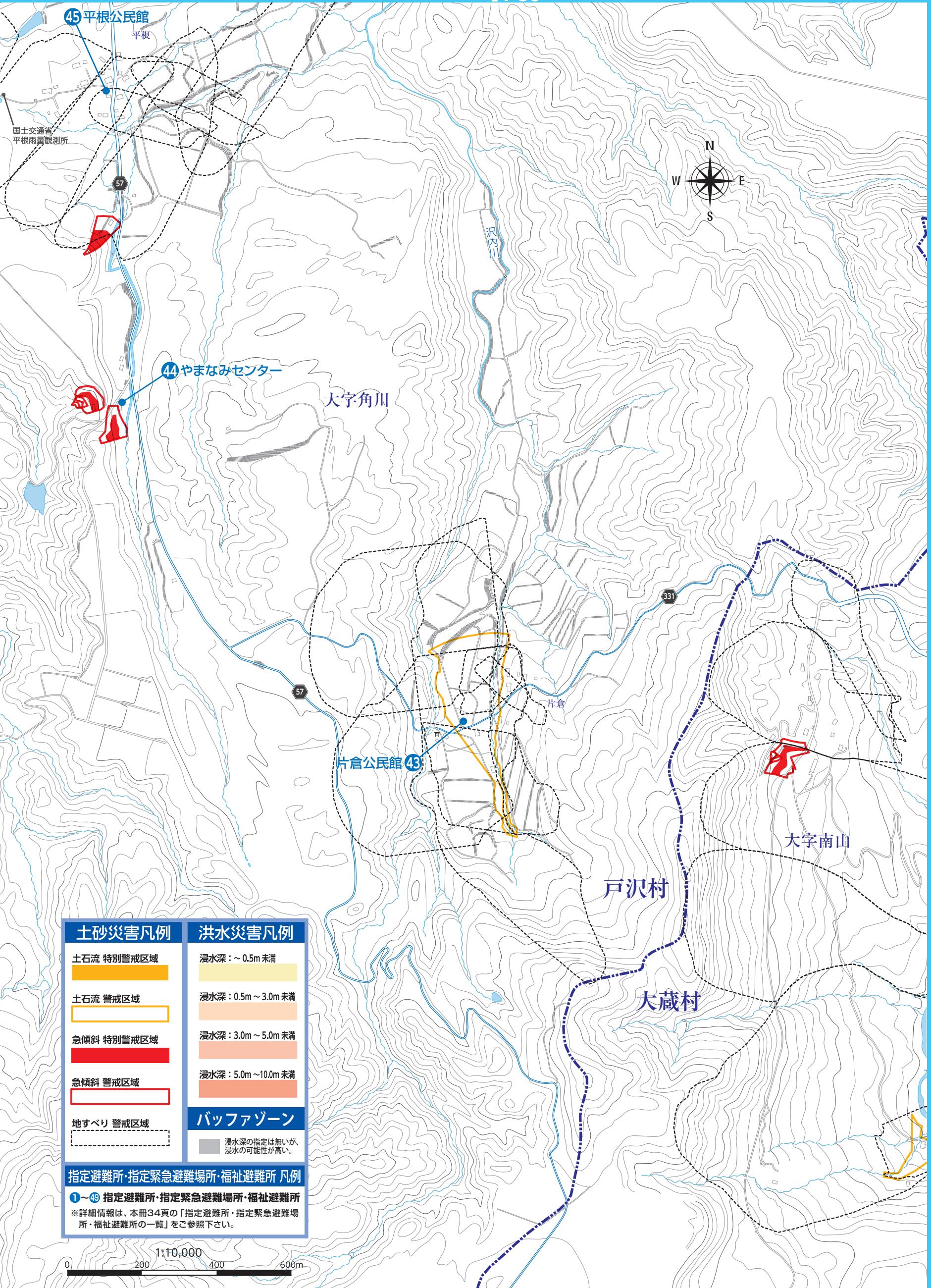




詳細図

No.11





行政・学校・ライフライン連絡先

行政関係機関

名称	所在地	電話番号	備考
戸沢村役場	古口 270	72-2111	
戸沢村中央公民館(教育委員会)	名高 1593-86	72-3242 または 72-2304	
最上広域市町村圏事務組合消防本部 災害情報テレホンサービス	新庄市金沢字 中村 1279-1	22-7521 0180-99-2345	火事・救助・救急車 119
最上広域市町村圏事務組合消防署西支署	蔵岡上の山 3718-1	72-2308	
新庄警察署	新庄市新町 5-19	22-0100	
新庄警察署 戸沢駐在所	蔵岡上の山 2905-34	72-2505	
戸沢村中央診療所	古口 2664-5	72-3363	
新庄市夜間休日診療所	新庄市堀端町 3-33	29-6300	
山形県救急電話相談		#8000 または 023-633-0299 #8500 または 023-633-0799	15歳未満(小児) 15歳以上(大人)

学校関係機関

名称	所在地	電話番号	備考
戸沢小学校	蔵岡 2905-7	72-2502	
戸沢中学校	蔵岡 2905-7	72-2506	
戸沢保育所	蔵岡 3718-1	29-8670	

ライフライン関係機関

名称	所在地	電話番号	備考
東北電力(株)コールセンター		0120-175-366	停電・緊急時
NTT 東日本(株)山形支店		113 又は 0120-444-113	電話の故障
災害用伝言ダイヤル		171	利用方法は下段を参照下さい。
戸沢村役場建設水道課	古口 270	72-2547	

わが家の「防災・緊急情報」メモ



非常時・緊急時に困らないためにも、家族同士・親族同士の連絡先や
なにか気を付けておくべきことを話し合い、ここに書いておきましょう。

家族及び 親族連絡先	氏 名	電 話	氏 名	電 話
家族の 決め事				

災害用伝言ダイヤルの使い方

災害用伝言ダイヤルとは?

NTTでは、災害発生時に、被災地への通話がつながりにくい状況の場合、被災地内の安否等の情報を音声で録音、再生する「災害用伝言ダイヤル」を設置します。NTT「災害用伝言板(web171)」との連携により、伝言内容を相互に確認が可能。

伝言の録音	171-1-▲▲▲▲-■■-◆◆◆◆ (被災地の方の電話番号)	伝言保存期間	運用期間終了まで
伝言の再生	171-2-▲▲▲▲-■■-◆◆◆◆ (被災地の方の電話番号)	伝言蓄積数	1電話番号あたり1~20件 (提供時にお知らせいたします)
伝言内容	1伝言あたり30秒以内	利用可能電話	固定電話、IP電話(050含む)、 携帯電話、PHS

戸沢村指定避難所・指定緊急避難場所一覧

※一覧は現在の情報となります。新たなハザード情報や施設の状況により、今後避難所や避難場所が見直しが行われた場合は、住民の皆様へお知らせ致します。

NO	施設名・場所名	所在地	掲載頁	指定 避難所	指定緊急 避難場所	福祉 避難所	洪水	土砂 災害	地震
1	戸沢小・中学校	戸沢 2905-7	P 23	○	○		○	○	○
2	戸沢保育所	戸沢 3718-1	P 23	○	○		○	○	○
3	旧 戸沢小学校	名高 1592	P 19 / P 23	○	○		○	○	○
4	旧 戸沢保育所	名高 1593-393	P 23	○	○		○	○	○
5	旧 神田小学校	神田 3633	P 23	○	○		○	○	○
6	旧 神田保育所	神田 3645-1	P 19	○	○		○	○	○
7	旧 古口保育所	古口 199-3	P 22	○	○		×	○	○
8	中央公民館	名高 1593-86	P 19 / P 23	○	○		○	○	○
9	若者センター	戸沢 3718-1	P 23	○	○		○	○	○
10	農村環境改善センター	角川 481-1	P 26	○	○		○	×	○
11	南部地区地域振興センター	角川 582	P 26 / P 29	○	○		○	○	○
12	保健センター	古口 2664-1	P 22	○	○		×	×	○
13	ほんぽ館	松坂 155	P 11	○	○		○	×	○
14	まごころ荘	戸沢 2759	P 23	○		○			
15	清流園	戸沢 3718	P 23	○		○			
16	本郷農村公園	角川 454-1	P 26		○		○	×	○
17	岩清水公民館	岩清水 836-1	P 24		○		○	○	○
18	金打坊公民館	津谷 1376-2	P 24		○		×	○	×
19	津谷公民館	津谷 72-6	P 23		○		○	○	○
20	向名高公民館	名高 1306-1	P 19 / P 23		○		○	○	○
21	名高公民館	名高 980-1	P 19		○		×	○	○
22	濁沢公民館	神田 2158	P 19		○		○	×	○
23	神田公民館	神田 947-1	P 19		○		○	○	○
24	杉沢公民館	神田 2032-2	P 18		○		○	×	○
25	野口公民館	松坂 4697-1	P 11 / P 19		○		○	○	○
26	上松坂公民館	松坂 1052-2	P 20		○		○	○	○
27	下松坂公民館	松坂 632-3	P 20		○		×	○	○
28	出舟公民館	戸沢 1661-1	P 23		○		×	○	○
29	岩花生活改善センター	戸沢 1551-3	P 23		○		×	○	×
30	戸沢公民館	戸沢 149-1	P 23		○		×	○	○
31	真柄公民館	古口 698	P 22		○		○	○	×
32	古口公民館	古口 2664-4	P 22		○		×	×	○
33	上台公民館	古口 3104-153	P 21		○		○	○	○
34	猪ノ鼻公民館	古口 1113-2	P 21		○		×	○	○
35	白糸集会所	古口 3066-4	P 14		○		×	○	○
36	柏沢公民館	古口 2511	P 14		○		×	×	○
37	中沢公民館	角川 62-1	P 25		○		○	×	○
38	滝ノ下公民館	角川 260-7	P 26		○		○	×	○
39	十二沢公民館	角川 321-6	P 26		○		○	×	○
40	畠ヶ公民館	角川 728-7	P 29		○		○	×	○
41	西沢防雪センター	角川 890-3	P 29		○		○	○	×
42	与吾屋敷公民館	角川 1040-1	P 31		○		○	×	×
43	片倉公民館	角川 1092	P 32		○		○	×	×
44	やまなみセンター	角川 2447-2	P 32		○		○	×	○
45	平根公民館	角川 1196-6	P 30 / P 32		○		○	×	○
46	勝地公民館	角川 1317-4	P 29		○		○	○	○
47	上野公民館	角川 1394-8	P 29		○		○	×	○
48	沢内公民館	角川 1481-4	P 29		○		○	×	○
49	道の駅とざわ	戸沢 3008-1	P 22		○		○	×	○

(平成 31 年 3 月 31 日現在)